特別企画

●出荷台数23万台を超えた高性能ゲームマシンを分析、総括

MEGA-CDの現状と今後

●ひとめでわかるリリース情報！

MEGA-CD新作発売カレンダー

●注目!! 『LUNAR』や『天下布武』の続編など、特ダネ新作情報がめじろ押し！

MEGA-CDオールメーカー'93年の展望

セガ／ゲームアーツ／光栄／工画堂スタジオ／コナミ／コンパイル／CSK総合研究所／シムス／セガ・ファルコム／タイトー／タケル（シュールド・ウェーブ）／データウエスト／日本テレネット（ウルフ・チーム）／日本テレネット（RIOT）／日本物産／ビクター音楽産業／ヒューマン／ポニーキャニオン／ポリドール／マイクロキャビン／マイクロネット／マーバ 他

CONTENTS

1993年を占うスクープ満載号

●はじめに
　MEGA－CDが登場したのは1991年12月12日。ワークRAMに6Mビットの大容量を誇り、業界を席巻したものの、発売当初はソフトの本数が少なく、その真価を発揮するにはほど遠い状況といえた。しかし発売後１年足らずでソフトも21本（11月17日現在）をかぞえ、数を増しつつある。これはセガ、そしてサードパーティの'93年の戦略をまとめたMEGA-CD白書である。

家庭用ゲーム機器では驚異的な性能
MEGA-CDの現在と未来は!?

MEGA-CDの現状と今後

昨年12月に発売されたMEGA-CD
この1年を振り返る

そして今後のさまざまな状況を考察し
このハードを見直そう

MEGA-CD発売から1年たった今

昨年の12月12日にMEGA-CDが発売されてから、はや1年がたとうとしている。ソフトも21本発売され、その中にはユーザーの高い評価を得たものもあった。また、ソフトの本数も今後増えつつある傾向を見せている。

MEGA-CDのソフトの本数がある程度揃った今、MEGA-CDのハードとソフトの評価について考えてみる一つの時期だと思う。

本当にユーザーが満足するハードなのか、ソフトの評価はどうだろうか、などの問題を考えながらMEGA-CDの現在の状況と今後の動向をいろいろな方向から検討する。

ハードの性能はまだ発揮されず?

ここで、MEGA-CDのハードについてもう一度確認しておきたい。

まず、MEGA-CDはPCエンジンCD-ROM²につぐ国内で発売された2番目の家庭用CD-ROM²ゲーム機器である。

発売当初は、拡大縮小、2軸回転、2つのCPU、6Mもの大容量ワークRAM、業務用並みの音源など、その性能に話題を呼んだ。

だがしかし、それに見合うほどハードは普及しただろうか。また、今まで発売されたソフトの中に、それらの機能を活かしたゲームはいくつあっただろうか? 問われる点は多い。

⬅MEGA-CDも満1歳を迎えた。でも、まだまだこれからのハードである

出荷台数は9月末で23万台を突破!!

ここでは、MEGA-CDのハードについての現状を、本誌の読者アンケートや、セガを始めとするメーカーへの取材をもとにまとめてみた。ここでポイントとなるのは、やはりハードの普及だ。

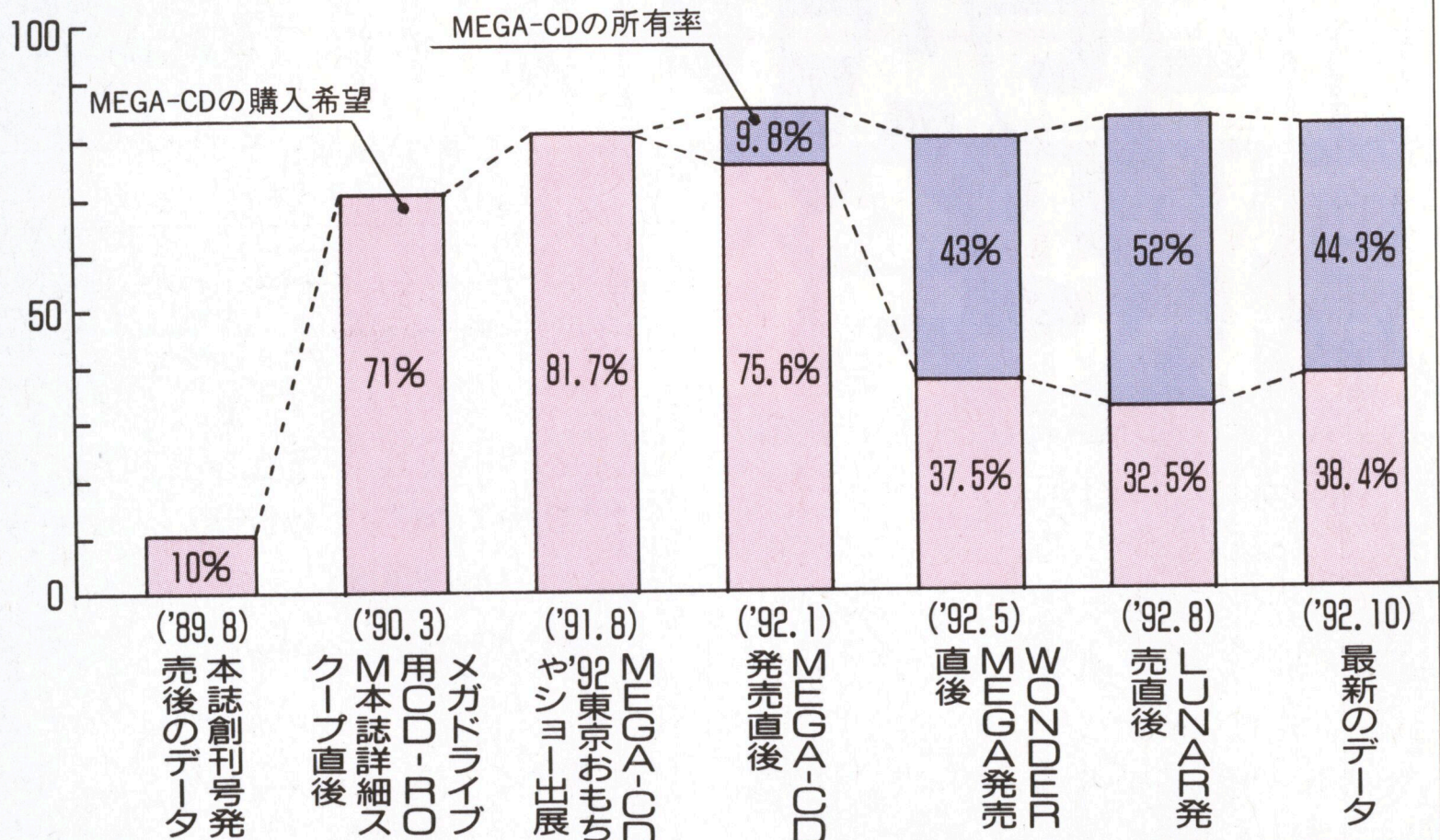
MEGA-CD出荷台数

セガ・エンタープライゼスの発表によるとMEGA-CDの出荷台数は'92年9月末現在で通算23万台である。この数は他機種の数字から比べると決して多い数字ではない。本誌読者のアンケートによる所有機種の調査でも伸び悩んでいる状況がうかがえる。それは、主にソフト面に原因があるように思える。しかし、ハードの機能に対する不満、不都合な点などの意見がないわけでもない。

POINT!!
MEGA-CDの出荷台数
'92年3月末20万台!
↓
'92年9月末23万台!

⬆今年の4月に発売されたWONDERMEGA。カラオケなどの機能も付いている

本誌読者の購入希望と所有率の推移

この表は本誌読者のアンケートによるMEGA-CDの購入希望と所有率の推移を表したものである。赤い部分がMEGA-CDの購入希望で、青い部分がMEGA-CDの所有率。MEGA-CDに関して特別な事柄のあった月を表にした。これを見ると、'92年5月には購入希望を所有率が上回っている。'92年8月には『LUNAR THE SILVER STAR』が発売され、それにともなってハードの所有率が伸びた。そのほかにはあまり変化は見られない。

現状ハードの不満点

確かにMEGA-CDは高性能なゲーム機器といわれているが、中にはMEGA-CDの疑問点、不満点を指摘しているユーザーもいる。その問題点の中で特に目立ったものを集めてみた。そして、それらの疑問をセガ 戦略企画室 田平誠悟さんに質問し、説明および対応策などを解答してもらった。

●MEGA-CD本体からCDソフトの出し入れの際、画面を見ながらパッドで操作しなければならないので面倒だ。
★セガ これは誤ってCD再生中にフタが開閉しないようあえてそういう方式をとっているためです。

●MEGA-CDの電源は2つもあって不便だ。一つにしてほしい。
★セガ まだ詳細は未定ですが、2個のACアダプターを整理する工夫を現在検討中です。

●なぜMEGA-CDはメガドライブ同様、色数が少ないままなのですか?
★セガ 色数はメガドライブ側に依存するためMEGA-CDで増やすことはできません。しかし、現状の色数で優れた色彩のソフト作りは充分可能だと考えています。『ソニック2』などを見て下さい。

他の家庭用CD-ROMゲーム機の現状

MEGA-CDのライバルとなるのはPCエンジンCD-ROM²だろう。

このPCエンジンCD-ROM²は今から4年前に発売され、当時話題を呼んだハード。その後、ソフトの本数が増えていき、従来のROMのカートリッジに取って代わる勢いになった。さらに昨年10月には上位機種であるPCエンジンスーパーCD-ROM²が登場し、以降のPCエンジンの主流となる。このPCエンジンスーパーCD-ROM²は、性能こそMEGA-CDに劣るが、ソフトの数の多さなどで販売台数も伸びている。

PCエンジンCD-ROM² スーパーCD-ROM²	通算出荷台数
PCエンジン CD-ROM²	125万台
PCエンジン Duo	50万台
PCエンジン スーパーCD-ROM²	7万台

PCエンジンスーパーCD-ROMとは、一体型のPCエンジンDuoと、スーパーCD-ROM、スーパーCD-ROMシステムカードとに分けられる。

PCエンジンDuo

⬆現在のPCエンジンの主力商品。ROMカートリッジとCD-ROMの一体型。WONDERMEGAのようなもの…?

※本誌読者の購入希望の所有率の推移は、無作為に1000通選びだした読者ハガキによる、アンケートの集計結果です。

『LUNAR』、『天下布武』ゲームアーツ作品健闘

では、MEGA-CDのソフトの現状はどうだろう。MEGA-CD発売から、今年の12月8日までに発売されたタイトルは23本。ジャンルも多岐にわたっている。その中で出荷本数の多かったソフトと読者評価の高かった作品を、順位をつけて表にまとめてみた。

POINT!!
MEGA-CD参入メーカー
'92年11月末現在 **24社**

POINT!!
MEGA-CDソフト本数
'92年11月末現在 **23本**

CD-ROMソフト出荷本数

右の表がセガ・エンタープライゼス発表（11月15日現在）によるMEGA-CDソフトの出荷本数の多い順の表だ。

これをみると、やはり発売前から読者の人気も高かった『LUNAR THE SILVER STAR』が1番の出荷本数を記録した。それに続き『天下布武～英雄たちの咆哮～』が2位。いずれもゲームアーツの制作した作品であるのが興味深い。また、1位から3位まではMEGA-CDのオリジナル作品だ。また、ジャンルではRPGのソフトの出荷本数が多い傾向にある。

MEGA-CD出荷本数ランキング

順位	タイトル	発売元／価格
1	LUNAR THE SILVER STAR	ゲームアーツ／7800円(税別)
2	天下布武～英雄たちの咆哮～	ゲームアーツ／7800円(税別)
3	惑星ウッドストック ～ファンキー・ホラー・バンド～	セガ／6800円(税別)
4	サンダーストームFX	日本テレネット（ウルフ・チーム）／7800円(税別)
5	ブライ 八玉の勇士伝説	セガ／7800円(税別)
6	魔法の少女シルキーリップ	日本テレネット(RIOT)／7400円(税別)
7	ライズ オブ ザ ドラゴン A Blade Hunter Mystery	セガ／6800円(税別)
8	プロ野球スーパーリーグCD	セガ／6800円(税別)
9	クイズ スクランブル スペシャル	セガ／6800円(税別)
10	ワンダードッグ	ビクター音楽産業／7200円(税別)
11	デトネイター・オーガン	ホット・ビィ／7800円(税別)
12	BLACK HOLE ASSAULT	マイクロネット／6800円(税別)
13	プリンス・オブ・ペルシャ	ビクター音楽産業／7800円(税別)
14	コズミック・ファンタジー Stories	日本テレネット／7800円(税別)

『LUNAR』。CD-ROMならではの要素をふんだんに盛り込んだRPGだ

『天下布武』。登場する武将数が1000を越える大容量の戦国シミュレーション

『惑星ウッドストック』。出荷本数は多いがユーザーの評価はかなり厳しかった

CD-ROMソフト読者評価

MEGA-CDのソフトの評判はどうだろう。本誌に寄せられたアンケートハガキによる集計結果をまとめてみた。

それによると、出荷本数も高かった『LUNAR』が1位。メガドライブ全体（10月末現在251本）中の総合の評価でも1位である。それ以外のソフトの評価は、全体で17位である『天下布武』を除くとそれほど高い順位のものはない。一番評価が低かったのは『惑星ウッドストック～ファンキー・ホラー・バンド～』で、MEGA-CDだからといって高い評価を得ているとは限らない。ただ、音楽と熱中度が比較的高く評価されたソフトが多いようだ。

MEGA-CDソフト成績表

順位	ゲーム名／ジャンル	キャラクタ	音楽	買い得	操作性	熱中度	オリジナル	総合
1	LUNAR THE SILVER STAR／RPG	4.7 ③	4.6 ①	4.4 ⑤	4.4 ①	4.5 ①	4.1 ⑫	26.9 ①
2	天下布武～英雄たちの咆哮／シミュレーション	4.1 ㉝	3.8 ㊷	4.1 ⑬	4.0 ⑭	4.4 ⑦	4.0 ⑯	24.3 ⑰
3	ライズ オブ ザ ドラゴン A Blade Hunter Mystery／アドベンチャー	4.0 ㊼	3.8 ㊷	3.9 ㉗	3.5 (76)	3.7 (71)	④.0 ⑯	22.8 ㊴
4	サンダーストームFX／シューティング	3.6 (121)	4.0 ㉕	3.6 (59)	3.4 (99)	4.0 ㉛	4.1 ⑫	22.6 ㊺
5	アースネスト・エバンス／アクション	4.2 ㉗	4.1 ⑯	3.5 (70)	3.0 (200)	3.0 (115)	3.8 ㉚	22.1 (55)
6	魔法の少女 シルキーリップ／アドベンチャー	4.3 ㉑	3.5 (84)	3.3 (111)	3.1 (117)	3.4 (137)	3.9 ⑲	21.5 (81)
7	精霊神世紀 フェイエリア／RPG	3.8 (76)	4.0 ㉕	3.5 (70)	3.4 (99)	3.5 (115)	3.3 (129)	21.4 (88)
8	ソル・フィース／シューティング	3.6 (121)	3.8 ㊷	3.5 (70)	3.7 ㊳	3.6 (90)	3.2 (155)	21.3 (94)
9	プリンス・オブ・ペルシャ／アクション	3.8 (76)	3.5 (84)	3.3 (111)	3.1 (117)	3.6 (90)	3.5 (84)	20.9 (111)
10	クイズ スクランブル スペシャル／クイズ	3.5 (145)	3.4 (102)	3.3 (111)	3.3 (132)	3.5 (115)	3.4 (105)	20.4 (130)

※MEGA-CDソフト成績表は毎月無作為に500通選びだした読者ハガキによるアンケートの集計結果です。

ハードの普及とソフトのラインナップの充実が課題

最後に、MEGA－CDの今後はどうなるのだろうか。MEGA－CDが活性化するのに必要な条件は、第一にハードの普及だろう。もちろん、それには、ソフトの充実も望まれることだが、よく言われるハードをひっぱるソフトの出現が望まれているところだ。

これからのハードはどうなるのだろうか。MEGA－CDの新タイプ。ハードの性能を向上させる周辺機器は今後登場するのだろうか。

セガCDの発売

MEGA－CDの海外版、SEGA－CDが、最近、12月1日に発売されている。これにより、海外のソフトメーカーが多数参入を予定している。

MEGA-CDのバージョンUP

MEGA－CDのバージョンアップとして可能なのは周辺機器の充実だ。ここで紹介しているのは、「WONDERMEGA」の周辺機器だ。将来MEGA－CDの周辺機器として登場する可能性もあるかもしれない。

MIDIカートリッジ

CDに入っているMIDIのデータを直接読み込み、それに対応する楽器を鳴らすことができるカートリッジ。MIDI端子のないMEGA－CDには、この機能の実現は困難かもしれない。

電子ブック

電子ブックとは文字情報などをCDに大量に詰め込んだもの。1枚のCDに辞書5冊分もの情報も可能である。専用のハードが必要だが、MEGA－CDではカートリッジで対応する予定だ。

ハードは普及するか？

まずMEGA－CDのハードが普及するには現在のメガドライブユーザーのMEGA－CDへのシフトが望まれる。それに関してセガは、販促用ソフトをつけるなどして力を入れている。また、メガドライブも持たないユーザーのために、WONDERMEGAの販売増進も考えられる。そのためビクター音楽産業はWONDERMEGAを、今年の12月から楽器店に置くなどして、販売ルートの拡大をめざしている。

セガ・クラシック

⬆販促用としてMEGA－CDに付く。過去の人気作が1本に

他の家庭用CD-ROMゲーム機はどうなる？

それでは、ほかのハードの今後はどうだろう。一番の競合機種であるPCエンジンスーパーCD－ROMはどのような展開をみせるか。また、任天堂のスーパーファミコンのCD－ROMの発売はいつになるのか。また、見たこともない新しいハードは登場するのか。ゲーム機が日進月歩する今、生き残るのはどのハードだろうか。ゲームの時代はますますCD－ROMの時代へと移行していく。

PCエンジンCD-ROM

PCエンジンは、当分現行のスーパーCD-ROM²が主流だろう。マウスなどの周辺機器も揃いつつある。ソフト面では参入メーカーも増え、発売のされるソフトの本数もますます増えている。また、人気作品の『天外魔境』の続編や、『ダライアスII』を始めとする有名な作品の移植も予定されている。

その他のニューハードは…

そのほかのCD－ROMのハードは、なんといっても任天堂のスーパーファミコン用CD－ROMが話題をよんでいる。詳細はまだ不明だが、来年の8月以降に発売が予定されている。

そのほか新ハードとして、ハドソンが開発した32ビットCPUが、CD－ROMのハードになるのではないかと噂されている。また、FM－TOWNSの家庭用ゲーム機版も噂されている。

ソフトの今後

ソフトがまだMEGA－CDの性能に負けているというのが現状だった。それでは今後はどうだろう。どこのメーカーもソフトを作るうちにノウハウや技術といったものが蓄積される。当然レベルアップした作品が市場に出回ることだろう。だからといって将来のビッグタイトルが出現するとは必ずしもいいきれない。

ソフトが充実し、ハードが普及し、参入メーカーも増えてこそ初めて本当にMEGA－CDの評価がくだせると思う。

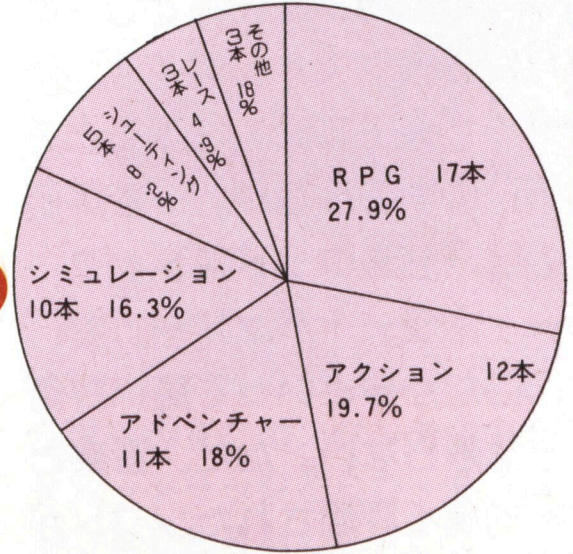
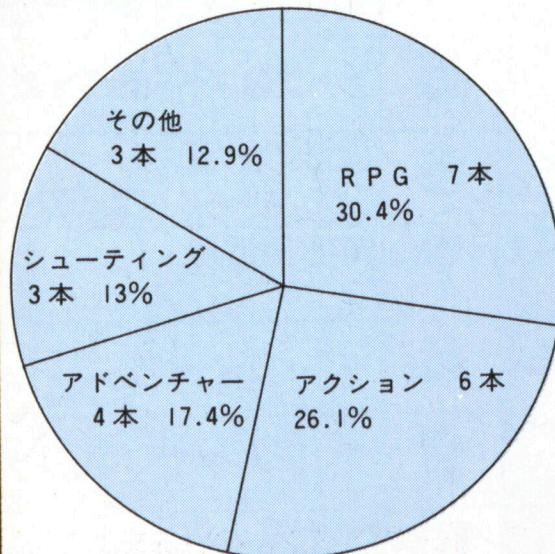
MEGA-CDソフトのジャンルの推移

下の円グラフはMEGA－CDのソフトのゲームのジャンルの推移を表している。左の円グラフは、今までに発売されたタイトルを表し、右の円グラフはこれから発売されるタイトルを表す。

ジャンルの推移をみると、1位のRPGから3位のアドベンチャーまでは変わらない。アクションは少し減る傾向がある。シミュレーションが顕著に増え、シューティングを抜いている。

今までに発売されたCDソフトのジャンル

RPG　7本　30.4%
アクション　6本　26.1%
アドベンチャー　4本　17.4%
シューティング　3本　13%
その他　3本　12.9%

➡

これから発売予定のCDソフトのジャンル

RPG　17本　27.9%
アクション　12本　19.7%
アドベンチャー　11本　18%
シミュレーション　10本　16.3%
シューティング　5本　8.2%
レース　3本　4.9%
その他　3本　18%

メガドライブ参入全メーカーを網羅
未公開情報もみんな見せます!!

MEGA-CD オールメーカー

1993年の展望

来たる'93年、MEGA-CDはどんな展開を見せるのか?

全60メーカーをメガドライブFANが総力をあげて追求する!!

『MEGA-CDオールメーカー』の見方

ここからのコーナーでは、MEGA-CDの将来をソフトウェアのラインナップという視点から探る。ここではメーカーごとにスペースを取り、各メーカーのすでにラインナップに上っているもの、また現在企画が進行中のものに関してもできるだけ紹介する。そしてそのメーカーが今までMEGA-CDやメガドライブで何本ソフトを出したか?が一目瞭然のDATA BANKも掲載した。

❶メーカー名

セガを筆頭に、現在メガドライブ、ゲームギアに参入しているすべてのメーカーをアイウエオ順に掲載。

❷MAKER DATA BANK

そのメーカーが今まで('92年12月8日現在)に発売したゲームの本数を各ハードウェア別に掲載している。

❸新作ソフト紹介

新作ソフトを個々に紹介。正式に発表されていないソフトも現在企画検討中という表記で掲載している。

❶ 最先端の技術をゲームに取り入れ続ける

ゲームアーツ

MEGA-CDの守護神ゲームアーツ。あの大作の続編はどうなっているのかな?

MEGA-CDに『天下布武』、『LUNAR』など大作というにふさわしい作品を供給し続けてきたゲームアーツ。今後のラインナップも大いに気になる。

MEGA-CDだけで勝負する

❸ カミソリスーン!

ゆみみみっくす

アドベンチャー

12月下旬発売予定/7800円(税別)

ほのぼのアドベンチャー

漫画家竹本泉のオリジナルキャラクタを約7000枚の動画を使ってアニメーションさせるアドベンチャーゲーム。シナリオはコマンド選択によってストーリーが分岐していくマルチエンディング方式を採用している。主人公の女子高生弓美や彼女を取り巻く登場人物

ハードメーカーとして課せられた使命を果たすぞ

セガ・エンタープライゼス

'91年12月12日にMEGA-CDが発売されてからすでに1年が経過しようとしている。セガではMEGA-CD発売当初に予定していた目標をクリアできなかったことを認めている。またその理由としてハードを引っ張るソフトを供給できなかったことを上げ、'93年は全力で巻き返しを図っていくようだ。

MAKER DATA BANK

- メガドライブ(ROM)発売済みの作品……計91本
- MEGA-CD発売済みの作品……計5本
- ゲームギアの発売済みの作品……計41本

現在セガが予定しているMEGA-CDのソフトは9タイトル。この他にも隠し玉は何本かありそうなのだが、まだオープンにはできないらしい。現状の資料などから'93年のセガの動向をソフトラインナップの点から探っていこう。

'92年はMEGA-CDにとって受難の年だったのか?

特別インタビュー セガのMEGA-CD戦略を聞く

MEGA-CDの今後の展開をセガのH・E事業部事業部長である鎌田取締役にインタビューした。

編集部　まずはMEGA-CDの現状についておうかがいしたいのですが。
鎌田取締役(以下鎌田)　ご存じのとおりMEGA-CDは発売から1年がたとうとしています。まあ、残念な話なんですけれども、販売に関しては当初の予想を下回ってしまいました。
編集部　原因としてはどんなことが考えられますか。
鎌田　やはりその一番の原因は当社から『3×3EYES』や『ダークウィザード』といった話題作、期待作の発売が1年近く遅れてしまったということでしょう。
編集部　遅れた理由はなんでしょうか。
鎌田　開発陣がMEGA-CDということで、かなり意識して作っていたようです。その辺りが遅れた原因の一つでしょうね。ハードを買っていただいたユーザーの皆さんには大変ご迷惑をかけ、申し訳なく思っています。
編集部　今後の見通しはどうですか。
鎌田　1月には『ダークウィザード』、2月には『ファイナルファイトCD』、3月には『3×3EYES』と開発が遅れていたソフトがようやく発売できそうなので期待していただきたいです。
編集部　その後のソフトラインナップについてはどうですか。
鎌田　MEGA-CDにしても、他の新しいハードにしてもゲームの開発者が新しいハードの能力を熟知できるまでには1年はかかるようです。そういう意味では'93年に発売されるソフトは完成度の高いものが多いでしょう。またゲームのジャンルに関しても今までとは違った新しいジャンルのゲームも多数登場するはずです。
編集部　来年はよりMEGA-CDの能力が発揮できるだろうということですか。
鎌田　そうですね。ソフトメーカーさんにしてもセガの開発部隊にしても今年はいろいろな試行錯誤を繰り返しながらソフト開発をしてきましたから、来年は期待できる作品が多く登場するでしょう。
編集部　こんどはハードウエア自体の展開についてなんですが。販売戦略としてはどんなことをお考えですか。
鎌田　現在セガクラシックというプレミアムソフトをMEGA-CDに同梱するキャンペーンを展開しています。こういったキャンペーンで新規ユーザーの開拓を図ると同時に、すでにMEGA-CDをお買いになったユーザーのかたにもセガクラシックをお届けできる方法を検討しています。ハード自体の魅力については、まあ最近マルチメディアという言葉がよく聞かれますけど、マルチメディアという点で考えるとCD-ROMというのは最先端にあるわけですよね、容量も多いしグラフィックや音なんかも。ハードの能力的にも、もっといろんな使い方があると思うんです。そういう意味でMEGA-CDという商品はじっくり育てていきたいと考えています。
編集部　そういえばアメリカでもSEGA-CDが発売されましたが、日本とアメリカのソフトの相互移植なんかはありますか。
鎌田　もちろん双方の市場で売れそうなソフトに関してはどんどん移植して売りたいと考えています。
編集部　今後セガが開発するゲームにおけるROMとCD-ROMの比率はどうなりますか。
鎌田　まだCD-ROMが中心になるというところまでは行かないでしょう。ただ、93年はMEGA-CD全体で30本以上のゲームをリリースする計画です。平均、月2本から3本といったペースですね。これは今年に比べてはるかに多い数字です。また現在実験中の動画を使ったゲームの開発技術が確立すれば、MEGA-CDの本数も飛躍的に増えるでしょう。
編集部　最後にハード、ソフト両面から今後のMEGA-CDの展望をお願いします。
鎌田　カラオケやマルチタップ対応ソフトなどの充実で、1人でゲームをして楽しむというよりは大勢でワイワイ楽しむ環境に変わってくるとおもいます。ユーザーの皆さんには今後に期待していただきたい。

メガドライブ、MEGA-CDの営業部門の責任者である鎌田取締役事業部長

これが「セガクラシック」だ。年内にMEGA-CDを買うとついてくる

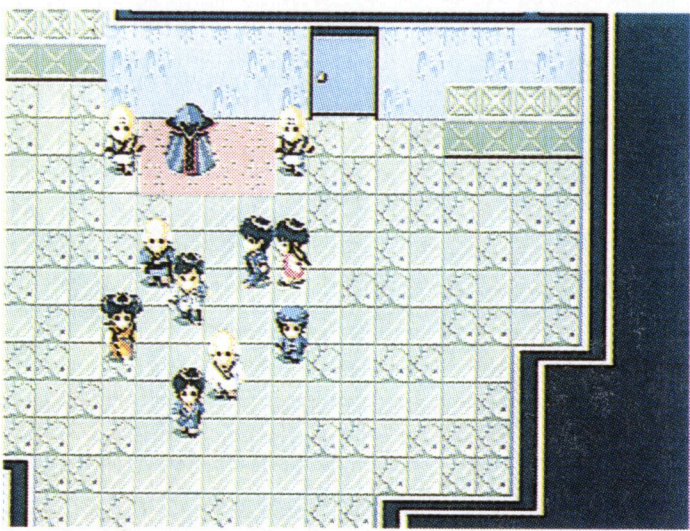
聖魔伝説 3×3EYES

RPG

'93年3月26日発売予定／価格未定

高い前人気に応えてほしい

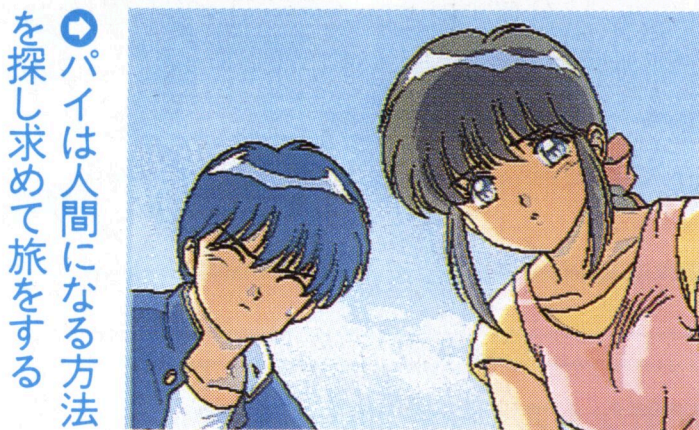
この『聖魔伝説3×3EYES』はMEGA-CDが発表された直後にタイトルが発表された。

すでに発表から1年以上が経過しているが、本紙のアンケート結果を見ると常に買いたいゲームの上位に食い込んできている。しかも、具体的な内容が紹介されていないにもかかわらずにである。

これはフィールド画面。画面構成はオーソドックスな感じがする

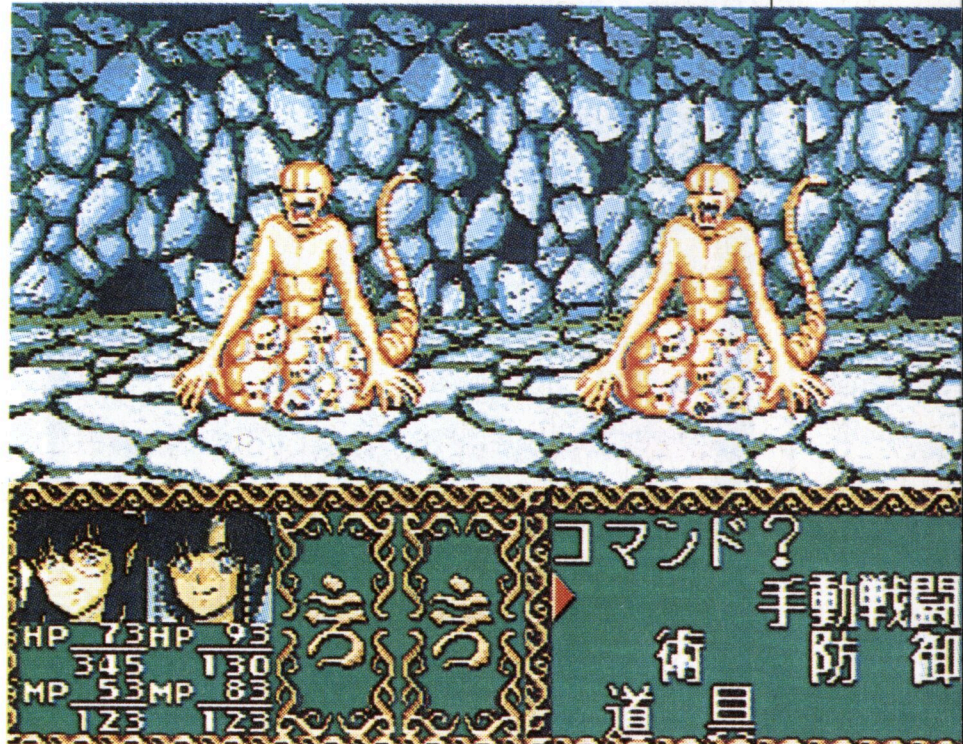
原作の人気を越えられるか

原作は「週刊ヤングマガジン」で連載中の同名漫画。しかもビデオアニメ化されるほどの人気だ。ゲームの前人気の高さは原作人気に引っ張られているといえそうだ。

ゲーム自体はキャラクタ性を重視したフィールドタイプのRPGで、主要キャラにビデオ版と同じ声優陣を使ったビジュアルシーンもウリの一つ。現在の開発状況はようやくシステムが固まってきたというところ。実際の発売は3～4月になりそうだ。

八雲は人間にもどるためにパイと旅をする

パイは人間になる方法を探し求めて旅をする

キャラクタの個性を再現

ストーリーは原作の設定を元にしてはいるが、オリジナルの要素も多く含まれている。登場キャラクタにもMEGA-CD版オリジナルのキャラクタが登場し、ストーリーを盛り上げてくれるようだ。システムでは戦闘シーンが見もの。横スクロールのアクションゲームのようにキャラクタが動き回る。原作そのままのアクションを見せながら各キャラクタがいろんな術を使うこともできる。

戦闘画面。キャラクタが持つ能力によって攻撃方法が変わる

ダークウィザード ～蘇りし闇の魔導士～

RPG

'93年1月下旬発売予定／6800円(税別)

主人公ごとに別のストーリー

こちらも発売日が延び延びになっているゲームだ。4人のキャラクタの中から自分の好みのキャラを主人公として選び、ゲームをプレイすることができるシステム。このシステムのおかげで4パターンのストーリーを楽しむことができる。ゲーム内容はシミュレーション要素の強いRPG。

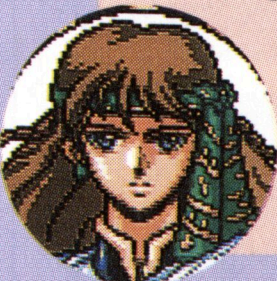
迫力のビジュアルシーン

闇の魔導士ヴェネローゼ率いる魔軍に対抗するのが聖王、つまり主人公だ。4人のキャラクタそれぞれに彼らが聖王になるまでのエピソードを迫力満点のビジュアルシーンで見ることができる。

二千枚を越す動画が使われたビジュアルシーン。各キャラクタに用意されている

ウエンリーク9世

前聖王ウエンリーク8世の子。父と妻を魔軍に殺される。怒りに燃える彼は魔軍に対して復讐を決意する

シオン

ウエンリーク8世のもとで第二騎士団長を務めていた女騎士。王の無念を晴らすべく魔軍に立ち向かう

アモン

闇に生きる吸血鬼。みずからが世界の支配者になるため聖王を暗殺し、ヴェロネーゼの軍に戦いを挑む

イメルダ

ヴェロネーゼにだまされて聖王を討つ。しかし真の仇がヴェロネーゼであることに気づき復讐を誓う

新型の戦闘システムだ

戦闘システムは、ほとんどシミュレーションゲーム。ヘックス上で自軍のユニットを操作し敵と戦う。自軍の味方にできるユニットの種類は各主人公の属性によってことなる。ユニットは戦闘を繰り返し経験値を稼ぐことによって、さらに強力なユニットに進化させることができる。

戦闘はヘックス戦でおこなわれる

街でいろいろな情報を集める

ファイナルファイトCD

アクション

'93年2月26日発売予定／価格未定

アーケード版に近い完成度

『ファイナルファイト』といえば、すでにスーパーファミコン版として家庭用ゲーム機には移植されているが、このMEGA-CD版はより忠実にオリジナルのアーケード版を再現することに成功している。

MEGA-CD版では3人のキャラクタの中から好きなキャラを選べる

2P対戦プレイがウリ

この『ファイナルファイトCD』のウリはなんといっても2P対戦プレイ。完全に別のモードとして独立したシステムになっている。

友達同士や大勢でワイワイ遊べばかなり盛り上がりそうだ。

使える技もアーケード版と同じだ

ガイ、コーディー、ハガー。この3人の内一番強いのは誰だ。キャラクタの特性を活かして戦え

スイッチ

アドベンチャー

'93年3月発売予定／価格未定

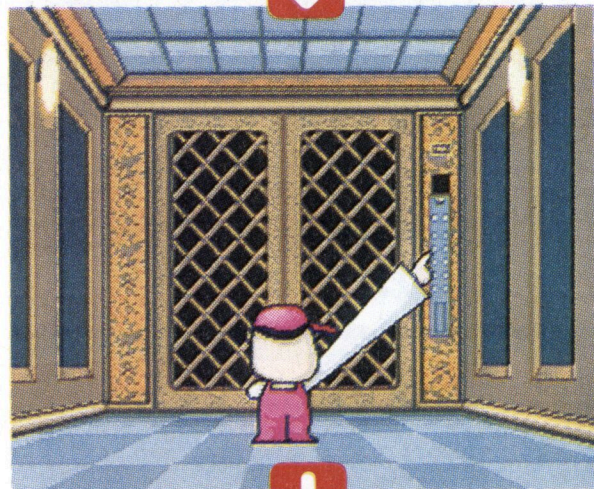
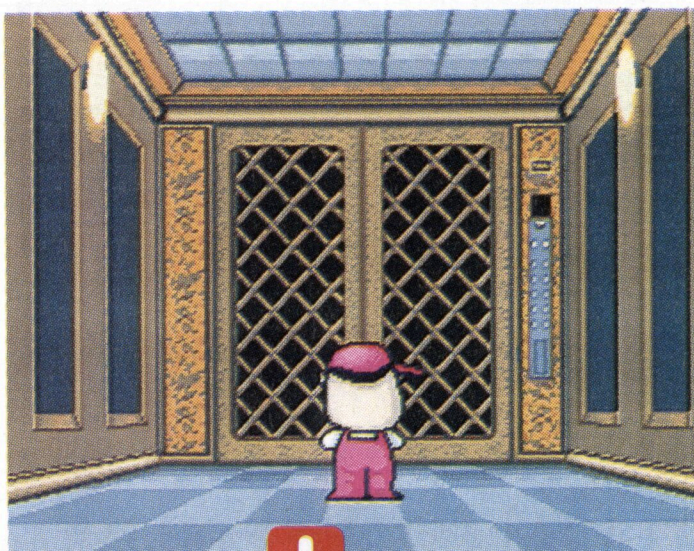
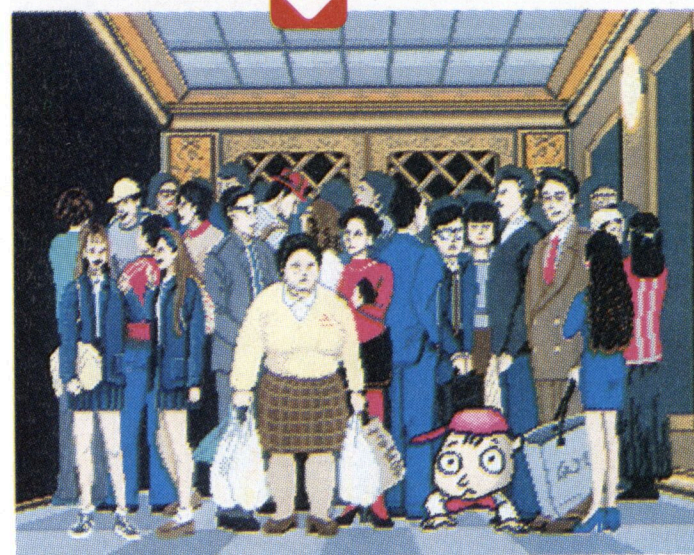
世界中のスイッチが狂った

この『スイッチ』はギャグ満載のアドベンチャーゲーム。世界を管理するマザーコンピュータが狂ってしまい、世界中のすべてのスイッチがまったく別の回路につながってしまった。

ギャグ1000連発

スイッチを押した瞬間から始まるギャグの嵐がプレイヤーをスイッチのパラレルワールドに引きずりこむ。さまざまなスイッチを押すことによって起こるイベントはどれも爆笑をさそうスグレモノ。

とぼけた表情がかわいい主人公

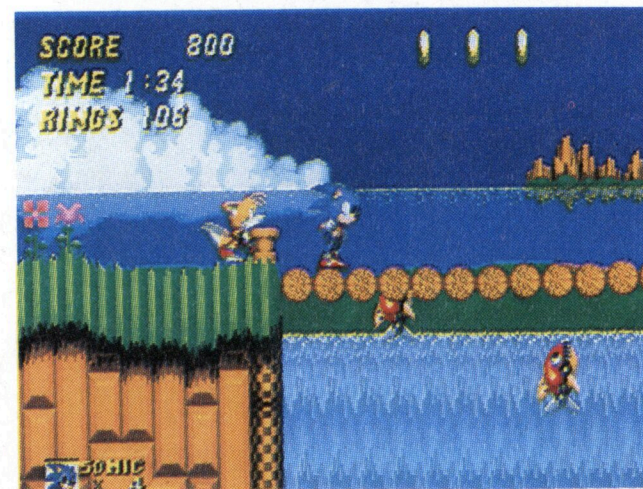
何気なくスイッチの前に立ち

おもむろにエレベータのスイッチを押す…

こんなことでめげちゃいけない

CDソニック・ザ・ヘッジホッグ（仮称）

アクション

'93年3月発売予定／価格未定

CDならではのアクション

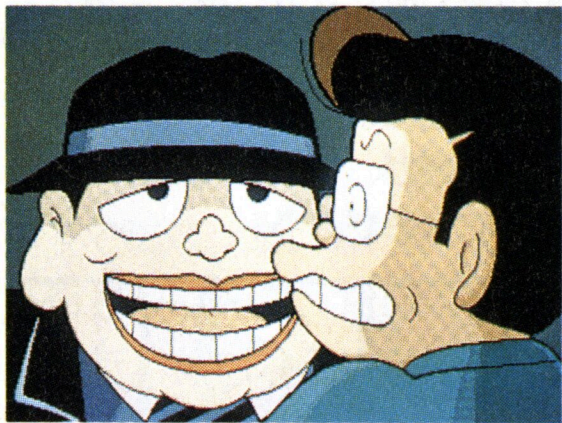
メガドライブ版で『ソニック・ザ・ヘッジホッグ2』が発売されたばかりだが、MEGA-CDでもソニックが登場する。また画面等も近々公開されるはず。ゲームは基本的にはソニックシリーズの流れをくむアクションゲームには間違いない。しかしMEGA-CDの機能をいかして、よりスケールの大きなゲームになりそうだ。具体的にはキャラクタが大きく表示されたり回転拡大縮小機能なんかもフルに使われている。

これは『ソニック・ザ・ヘッジホッグ2』の画面。CD版はどうなるのか

笑ゥせぇるすまん

アドベンチャー

'93年3月19日発売予定／価格未定

喪黒福造登場！

あの『笑ゥせぇるすまん』がMEGA-CDに登場する。シュールなブラックユーモアをたっぷり味わえるアドベンチャーゲームになりそうだ。もちろん、喪黒福造の声優はアニメと同じ大平透が担当する。

↑ちょっと辛口のブラックユーモアが味わえる

カミング スーン!!

リアルファイターズ

アクション

発売日未定／価格未定

6つのボタンを使いこなせ

先日発表された『ファイティングパッド6B(仮称)』に対応するアクションゲーム。発売はまだかなり先だが、『ストリートファイターII』のようなテクニック重視の格闘アクションゲームになりそうだ。

↑これが『ファイティングパッド6B』だ

カミング スーン!!

シムアース

シミュレーション

'93年1月下旬発売予定／価格未定

惑星開発シミュレーション

不毛の惑星に生命を造り、育てていくというシミュレーション。惑星の環境に関するさまざまなパラメータを調整して生命を進化させる。どんな生物が惑星の主になるかはプレイヤーの操作しだい。神の気分が味わえる。

↑惑星を育てよう。気分はまさに神様だ

カミング スーン!!

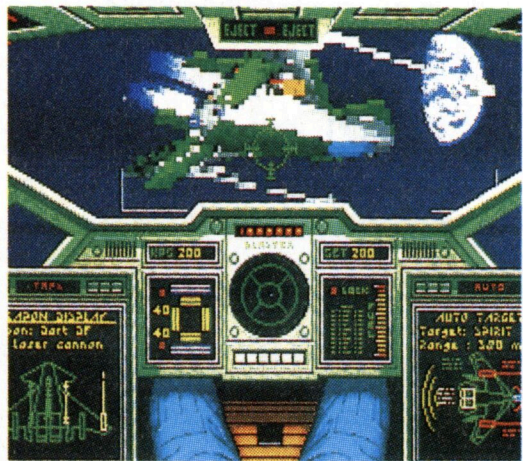
ウイング・コマンダー

シミュレーション

'93年3月発売予定／価格未定

マルチシナリオのスペースバトル

宇宙戦争をモチーフにしたシミュレーション。ゲーム自体はフライトシミュレーションに近い。

プレイヤーは宇宙戦闘機のパイロットとなり、異星人と戦う。参加した作戦の成果によってストーリーが分岐していくマルチシナリオを採用している。はやりのポリゴン処理ではなく、ドットで描かれたグラフィックは好みの分かれるところか？

↑ドットで描かれた3D表示が新鮮だ

↑この2つの画面はすべてIBM-PC版です

カミング スーン!!

ロードス島戦記

RPG

発売日未定／価格未定

人気ファンタジー小説をRPGに

アニメビデオシリーズにもなった人気ファンタジー小説を原作としたRPG。ゲーム内容などについてはまだはっきりした情報は伝わってこないが、基本的なシステムはオリジナルのパソコン版とそう大差はないはずだ。原作のシナリオが3つに別れているためMEGA-CD版でも3部構成になるかも知れない。その場合はCD-ROM3枚組？なんて可能性も!! 開発状況は実際のところまだまだスタートした段階。ようやくゲームの仕様が決まり開発が始まったという状況らしい。大作の予感を感じさせるソフトなだけに早い発売を期待したい。

↑小説『ロードス島戦記』。現在6巻までが発売中。角川書店刊

カミング スーン!!

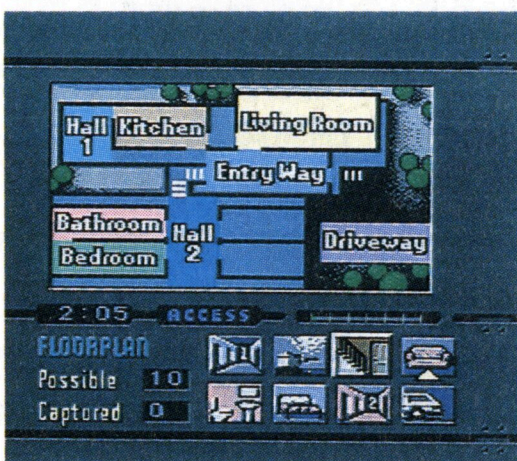
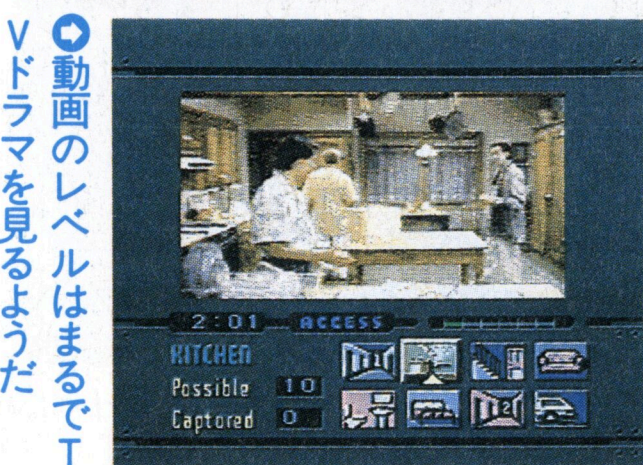
NIGHT TRAP

アドベンチャー

発売日未定／価格未定

完全動画のアドベンチャー

このゲームはMEGA-CDのアメリカ版「SEGA-CD」で発売されたゲームだが、日本での発売も検討中ということだ。ほとんどの画面を実写取り込み画面で構成しているが新鮮。ゲームは監視カメラと罠を使って侵入者を撃退するアドベンチャー。

ストーリーはサスペンスタッチなのだが、各所に見られるユーモラスな演出がアメリカっぽくていい。

↑この家を舞台にゲームが進んでいく

↑動画のレベルはまるでTVドラマを見るようだ

最先端の技術をゲームに取り入れ続ける

ゲームアーツ

MEGA-CDの守護神ゲームアーツ。あの大作の続編はどうなっているのかな?

MEGA-CDに『天下布武』、『LUNAR』など大作というにふさわしい作品を供給し続けてきたゲームアーツ。今後のラインナップも大いに気になる。

MAKER DATA BANK

- メガドライブ(ROM)発売済みの作品……………計2本
- MEGA-CD発売済みの作品……………計2本
- ゲームギア発売済みの作品……………なし

MEGA-CDだけで勝負する

'93年、ゲームアーツで開発されるゲームはCD-ROMが中心だ。代表取締役社長の宮路氏は、「CD-ROMは開発陣に開発意欲をわかせ、技術面でも最新の技術を取り入れたソフトに挑戦することができる」と自信満々に語ってくれた。現在、'93年発売のMEGA-CDソフトは4本。本数こそ多いとはいえないが、作品に対するしつこいまでのこだわりこそゲームアーツのゲームアーツたるゆえん。個々の作品のクオリティーの高さはかなり期待ができるだろう。

シルフィード

シューティング

発売日未定/価格未定

快感/3Dシューティング

PC−8801版がオリジナルとなるシューティングゲーム。ゲームの特色はなんといっても独特の画面構成だ。斜め上からの視点とポリゴンで作られた背景や自機によって見事な疑似3Dを作り上げている。画面が左右にスクロールするときには思わず体を傾けてしまう程。

現在の開発状況は約50%、プログラム作業も大詰めにさしかかっているということだ。まだ正式な発売日は未定だが、おそらく4〜5月ごろには発売されるだろう。

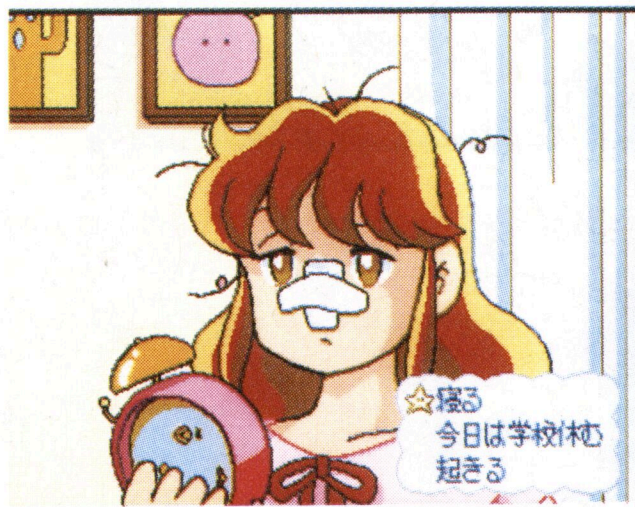
⬆開発中の画面だが、感じがつかめるかな?

ゆみみみっくす

アドベンチャー

12月25日発売予定/7800円(税別)

ほのぼのアドベンチャー

漫画家竹本泉のオリジナルキャラクタを約7000枚の動画を使ってアニメーションさせるアドベンチャーゲーム。シナリオはコマンド選択によってストーリーが分岐していくマルチエンディング方式を採用している。主人公の女子高生弓美や彼女を取り巻く登場人物の個性が絶妙の味をだしている。こちらも当初の発売予定から大幅に遅れてきたソフトだが、その分完成度の高さには期待できるだろう。

⬆主人公弓美は女子高生。いろんな事件が弓美に訪れる

ぎゅわんぶらあ自己中心派2

麻雀　激闘/東京マージャンランド編

12月18日発売予定/7800円(税別)

片山キャラ総出演

前作のROMカートリッジからCD-ROMへと進化した『ぎゅわんぶらあ自己中心派』。もちろんCD-ROMの大容量を活かしたゲームになっている。内容的には片山まさゆきのキャラクタがほぼ総出演し、各キャラクタが独特のリアクションで笑わせてくれる。モードでは「フリー対戦」、「ストーリー麻雀」の他、「デート麻雀」なんてのも用意されている。

⬆片山キャラクタ総出演。各キャラ独特のリアクションもバッチリ再現だ

タイトル未定

RPG

すでに作業を開始

すでに企画検討作業に入っているこの作品、おそらく『LUNAR』の続編になることになりそうだ。前作でできなかったこと、また前作をプレイしたユーザーからの意見や感想をもとに前作以上の作品にしたいということだ。

タイトル未定

アドベンチャー

超有名キャラ使用

『ゆみみみっくす』の路線を継承する作品。版権の問題でまだオープンにはできないそうだが、超有名コミックのキャラクタを使ったアドベンチャーゲームということ。発売は6〜7月。

タイトル未定

シミュレーション

天下布武の続編だ

こちらはおそらく『天下布武』の続編となる作品。まだ企画は固まっていない。ただ戦国時代ものになるとすれば各武将のパラメータを強化したいそうだが、その場合MEGA-CD本体にセーブできるかが不安ということだ。

蓄積されたノウハウを新メディアで展開

光栄

シミュレーション野郎御用達のメーカー、光栄もMEGA-CDに参入するぞ。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ（ROM）発売済みの作品……………計7本
・MEGA-CD発売済みの作品……………なし
・ゲームギア発売済みの作品……………なし

パソコンで歴史ものシミュレーションを中心に数々のヒット作をリリースし続ける光栄。ファミコンを始めとして各種ゲーム機にも参入し、メガドライブでは、参入約1年ですでに7タイトルを発売、さらに2タイトルが発売予定だ。

CDでもシミュレーション

CD-ROMというメディアに対し、光栄はすでにパソコンのFM-TOWNSでゲームをリリース、PCエンジンでの発売も間近。気になるMEGA-CDだが、とりあえず1本動いているもののタイトル自体の正式発表はまだ。ゲーム内容はやはり歴史シミュレーションものらしく、発売自体もそう先のことではなさそう。来月には画面写真を含めたタイトル発表がありそうだ。

現在企画検討中!!

タイトル未定

シミュレーション

サウンドウェアと一体化？

現在、光栄が企画しているMEGA-CDのタイトルは1本。やはり得意の歴史シミュレーションになるらしい。

光栄の歴史シミュレーションには、通称「三部作」と呼ばれるシリーズがある。『信長の野望』、『三國志』、『蒼き狼と白き牝鹿』がそれ。メガドライブでは、それぞれ1本、2本、1本（3月発売予定）が発売されているが、これらの人気作のいずれかがCD版で出るらしい。また、パソコン版やファミコン版の一部のソフトには、ゲームに「サウンドウェア」という音楽CDが付属しているものがある。MEGA-CD版はこれと一体化していて、ゲーム中のBGMはCDサウンドになるらしい。また、ゲームに登場する武将のデータベース的なものも入りそう。

⬆『信長の野望　武将風雲録』。シリーズの第3弾にあたる。パソコン版では5作目の『覇王伝』が発売されたばかり

⬆『三國志III』はその名のとおり、シリーズ3作目。現在のところは最新版

自社ブランド以外のタイトルも開発中！

工画堂スタジオ

他社ブランドのソフトも作りながら、MEGA-CDのタイトルも鋭意開発中！

MAKER DATA BANK
・メガドライブ（ROM）発売済みの作品……………なし
・MEGA-CD発売済みの作品……………なし
・ゲームギア発売済みの作品……………なし

工画堂スタジオは、パソコンのソフトを多く作っているメーカー。パソコンでシリーズ化されている『シュヴァルツシルト』をMEGA-CDにも移植する。『シュヴァルツシルト』はPCエンジンスーパーCD-ROM²版もでている。

まずは1本リリースしてから

同社の営業企画課の谷逸平さんの話では「MEGA-CDに関してはまだ何も言えません。うちのブランド以外でも、いくつか作っていますが、まずは自社のブランドの『シュヴァルツシルト（仮称）』を一本出してみてからですね。それからでないとMEGA-CDのユーザーの反応や、マーケットがどうなのかとかはわかりませんからね」とのことだ。従って同作品のシリーズ化は未定だ。

ハードの性能を生かした作品を

MEGA-CDの『シュヴァルツシルト（仮称）』の移植は、PCエンジン版の第1作目と同じストーリーになる。

同社は、ハードの機種にあった移植をめざしている。それは同じゲームでも、ハードごとにグラフィックやゲームバランスなどを変えていくもの。MEGA-CD版は、ビジュアルデモの増強や、戦闘システムのみせかたでPCエンジン版にはなかった要素を盛り込んでいる。

カミングスーン!!

シュヴァルツシルト（仮称）

シミュレーション

発売日未定／価格未定

PCエンジン版をパワーUP

『シュヴァルツシルト』はシュヴァルツシルト銀河を舞台にした壮大な物語とともに展開するSFウォーシミュレーションゲーム。この銀河系にある星々の国家間の争いがストーリーの中心となる。ゲームはいくつかに分かれたシナリオがあり。各シナリオごとにクリアしていくことによってゲームは進んでいく。

⬆MEGA-CD版『シュヴァルツシルト』。ビジュアルが美しい

オリジナルを中心に多くのユーザーが楽しめるものを

コナミ

マニアといわれるユーザーだけでなく、例えば小学校低学年にも楽しめる作品を作る。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……なし
・MEGA-CD発売済みの作品……なし
・ゲームギア発売済みの作品……なし

コナミは最近PCエンジンで、CD-ROMソフト『SNATCHER』を発売しユーザーに高い評価をえている。

メガドライブでも、MEGA-CDの企画を発表したコナミ。どういった作品になるのかは残念ながらまだ謎につつまれたままだ。

システム重視の制作

開発本部開発六部・統括部長の桐田富和さんによると「現在予定しているMEGA-CDのタイトルは1本。発売はまだいつごろになるかわかりませんが、来年中には出します」とのこと。

そして同桐田さんに、開発の方針についても聞いてみた。「やはりCD-ROMならではの作品に仕上げたいですね。CD-ROMのソフトというと、アニメのようなビジュアルがあったり、音楽が良かったりといった点でロムのソフトと差別化しているものが多いですが、それだけでなく、操作感覚などもっと基本的なシステムからすごいと思われるものを作ります」と答えてくれた。

移植ものを考えています

「当社の作品の方向性としてはMEGA-CDではオリジナルものを作っていきますが、人気タイトルの移植もあるかもしれません。可能性としてはフィフティーフィフティーですね。私個人としましては『SNATCHER』、『XEXEX』が向いていると思います」と桐田さん。来年のコナミはMEGA-CDの開発人数を増やしタイトルを多く出していく方針。ラインナップも充実される。

タイトル未定

ジャンル未定

来春の発表をまっててください

さて気になるタイトルだが、発売日はおろかジャンルさえ発表されていない。ただ、このジャンルに関して桐田部長は「明確なジャンル分けができないような斬新なゲームにしたい」とコメントを残していた。どちらかと言えば、移植ものというよりMEGA-CDのオリジナル作品の可能性が高いのだろうか。すでに企画は終了し、プログラムの作業段階に入っているこの作品。「恐らく来春には発表できると思いますので、楽しみに待っててください」と広報担当の早坂妙子さんも言っていた。ある程度ゲームが完成してからの発表となるらしい。

MEGA-CDでシューティングを魅せる!

コンパイル

発売されて間もない『電忍アレスタ』だが、早くも続編が企画進行中だ。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……なし
・MEGA-CD発売済みの作品……計1本
・ゲームギア発売済みの作品……計1本

『電忍アレスタ Nobunaga and his Ninja force』が発売されたばかりのコンパイル。現在は、セガから発売が予定されている『笑ゥせぇるすまん』の開発が進行中だ。

手間取った開発

コンパイルはPCエンジンのCD-ROMソフトも開発していて、CD-ROMソフト開発は初めてではない。『電忍アレスタ』は当初4月に発売予定されていたが、7カ月も発売が延びてしまった。それは、具体的なハードの性能をつかめていないまま開発に入らなければならなかったり、開発支援ソフト等が十分整っていないため延びてしまったのだ。『笑ゥせぇるすまん』もまた、そういう理由で現在も開発中なのである。

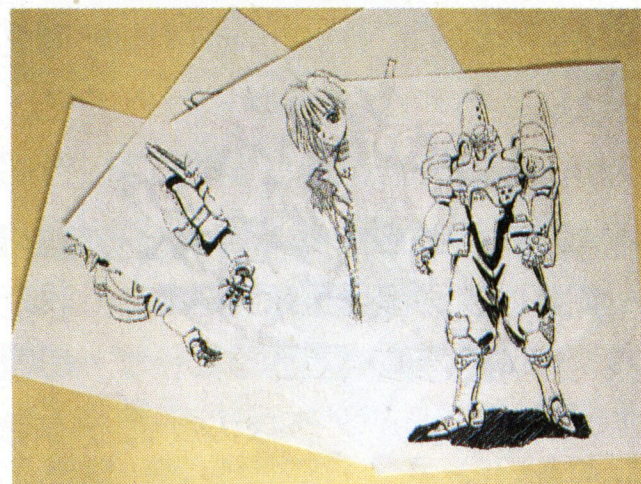
年間2タイトルを予定

93年のMEGA-CDソフトは2本が予定されている。MEGA-CDならではといういろいろな機能を駆使したソフト開発を目指していくそうだ。そのうちの1本は、早くも『電忍2』というタイトルが上がっている。前作のスタッフが取り組むので、より短い開発期間でより高い完成度のものが期待できそうだ。ほかには他社から発売が予定されているRPGの開発も行うようだ。

電忍2(仮称)

シューティング

業務用も予定

『電忍アレスタ』が発売されたばかりなのでまだ企画段階だが、前作のスタッフが引き続き開発を行う。『電忍アレスタ』の約40年後が舞台。より進歩した電機忍兵が登場する。今度は豊臣秀吉が深く関係してくる。縦スクロールのシューティングゲームで、詳細はまだ決まっていない。発売は93年末が目標。さらには業務用『電忍2』も予定されていて、MEGA-CD版より早く登場するようだ。

『電忍2』のイメージイラストだ

ゲーム以外のソフトのノウハウを生かして

CSK総合研究所

パソコンの実用ソフトで培ってきた技術力をゲーム作りに生かしていくことがテーマ。

MAKER DATA BANK

・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……………計3本
・MEGA-CD発売済みの作品……………なし
・ゲームギア発売済みの作品……………なし

CSK総合研究所は、セガ・エンタープライゼスと同じCSKグループの1社。もともと人工知能（AI）の開発機構として設立された会社で、ゲーム以外の実用ソフトでも知られているメーカー。特にFM-TOWNSを中心に、教育用、ビジネス用、趣味用などのソフトを数多く開発している。メガドライブには『ギャラクシーフォースII』で参入した。

今回は同社・アミューズメント事業部制作部次長の清水智幸さんと同事業部・課長の安田哲平さんに話を聞いた。

セガとは違ったカラーで

まず、安田さんの話では「うちは、海外の有名タイトルをMEGA-CDに多く移植していきたいですね。そして、これらの作品でうちのメーカーカラーを固めたい。海外のソフトは、主にIBM-PCの作品を中心に展開していきます。もちろんオリジナルものの企画も用意してあります」とのこと。

また「うちの特徴として、ゲーム以外の教育、ビジネスソフトなどで得た開発のノウハウを作品に取り入れることで、兄弟会社のセガとは違ったカラーを出していきたいですね」(同安田氏)とも語った。

本数は抑えて質の高いものを

開発に携わっている清水さんのコメントによると「MEGA-CDは、まだいろんなことができると思います。実際1本作ってみて、技術的にこんなことができるんだということがたくさんわかりました。この蓄積されたノウハウを次の作品作りに生かしたいですね」とのこと。

また「うちの開発は現在50名くらいいますが、今後人数を増やしていきます。でも、人を増やしたからといって発売するソフトの本数を多くするのではなく、現在あるラインの強化にあてます。タイトルをひんぱんに出すよりは、でかいタイトルをドンとだしていきたいですからね」と会社の体制について話してくれた。

最後に「MEGA-CDのソフトは確実にレベルアップしてます。来年はさらにレベルアップするでしょう」とMEGA-CDの今後を予想している。

カミングスーン!!

アフターバーナーIII

シューティング

12月18日発売予定／8400円(税別)

さらにバランスを強化

3Dシューティングゲームの『アフターバーナー』シリーズの最新作。

戦闘機同士のドッグファイトをコクピットから見た視点でゲーム化されている。戦闘機のフォルムのポリゴン処理が目をひく作品。

この作品は当初11月20日の発売の予定であったが、直前に約1カ月くらいの発売延期が発表された。その理由としてバランス調整の強化を中心に、それにともなう諸々の事情あったらしい。

⬆コクピットから見た状態の画面。戦闘機の臨場感あふれるディテールだ

⬆母艦に着陸したところ。ポリゴン処理のち密さがよくわかる画面である

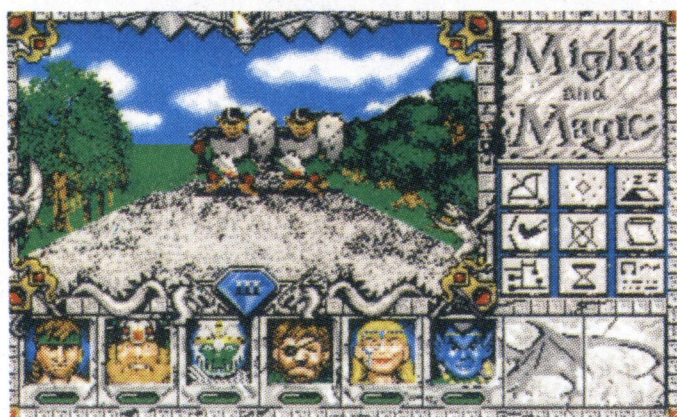
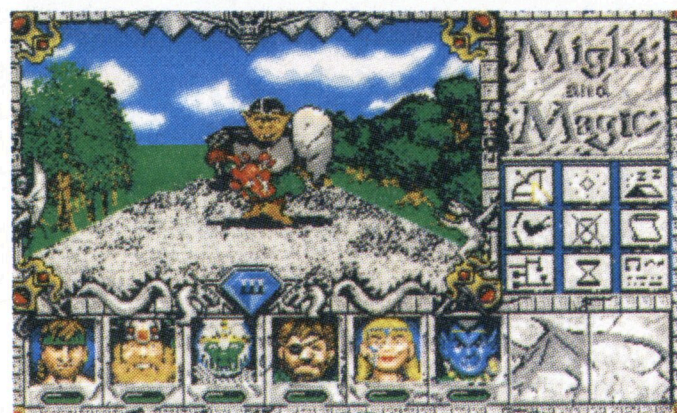
カミングスーン!!

マイト・アンド・マジックIII

RPG

発売日未定／価格未定

雰囲気を壊さずアレンジ

海外の有名3D-RPGの移植作品。MEGA-CD版はCD-ROMを使わなければできない作品を作るということで制作中だ。この移植に関しては、もとの作品のイメージを壊すことなく日本のユーザー向けのアレンジを施すらしい。それはおもにビジュアル関連で、グラフィックを細かくしたり、アニメのオープニングとエンディングを付けたりするといったものになるらしい。

⬆これはPC-9801版の『マイト・アンド・マジックIII』の画面写真

⬆MEGA-CD版のキャラクタはアニメを意識したものになるらしい

現在企画検討中!!

タイトル未定

RPG

移植もの第2弾

もう1つのタイトルも海外の有名RPGの移植らしい。CDソフトの付加価値である絵としゃべることを盛り込んだ作品になるらしい。詳しい発表が近日中にあるかもしれない。

MEGA-CD年5本はリリース予定

シムス

セガと密接な関係にあるサードパーティーの一つ。メガドライブと共に歩みゆく。

シムスは業務用をはじめ、セガ・エンタープライゼスの家庭用ゲーム機のソフトの開発と販売を中心に営業してるメーカー。またセガの関連会社でもあり、セガひとすじにメガドライブ、ゲームギア、MEGA-CDといった家庭用ゲーム機のソフトをリリースしている。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ（ROM）発売済みの作品……計2本
・MEGA-CD発売済みの作品……なし
・ゲームギア発売済みの作品……計3本

まずはメーカーのカラーづけ

シムスの当面の目標を企画開発課課長の塙智明さんに話を聞いてみた。すると「まず、シムスはどんなゲームをだしているところなのかユーザーに理解してもらいたいです。それにはまずオリジナル作品でユーザーに認めてもらえるようになりたいですね」と語ってくれた。

必要なのはビッグタイトル

塙さんの考えでは「スーパーファミコン、PCエンジンに比べるとMEGA-CDが普及していないのは、やはりソフトを引っぱるような大きいタイトルがないからです。『ドラクエ』のようなタイトルが1つか2つあるかないかの差でしかないでしょう。うちもこのようなタイトルをめざしてがんばります」とのこと。

カプコンのクイズ殿様の野望

クイズ

12月25日発売予定／7800円（税別）

発売を待つのみ

タイトルの通りカプコンの業務用から移植されたクイズもの。戦国シミュレーションを意識した作りがユニーク。

4000問のクイズが音声で読み上げられるのはCD-ROMならではのもの。

⇧業務用の完全移植プラスオリジナルの要素をふんだんに盛り込んだ作品

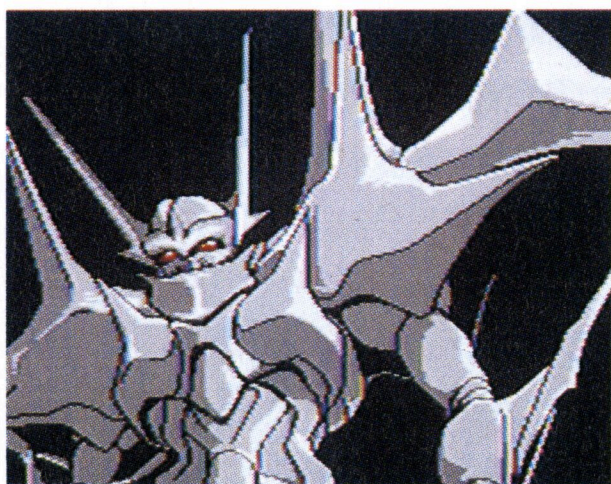
Vay～流星の鎧～

RPG

'93年4月発売予定／7800円（税別）

現在作品強化中

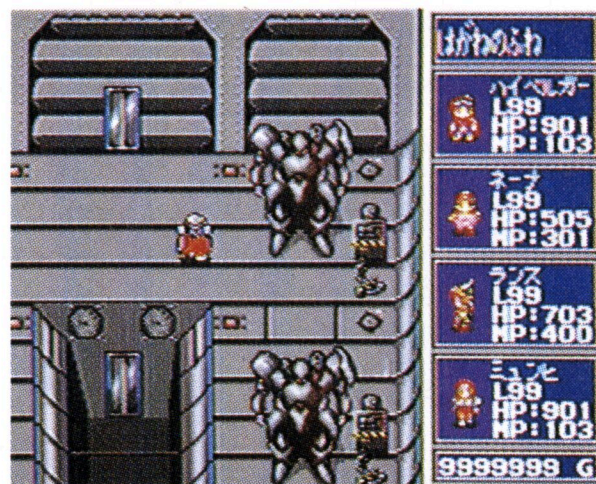
3月に発売を予定をしていたこのゲームは、企画から練り直すということで発売をさらに延期することに決定。

その強化するポイントとしては、ウリの部分であるビジュアルシーン、サウンド、戦闘システムなどが中心になる。とにかくこの作品をMEGA-CDの機能を活かしきったRPGに仕上げることがシムスの目的。その意気込みも並々ならぬもの。

⇦謎の「暗黒の鎧」。このようなキャラクタが活躍

注目のビジュアル

この作品では大きめの画面でち密なキャラクタが動き回る。特に巨大なロボットのような兵器（ランドアーマー）による戦闘シーンが大迫力で展開する。

そのほかにもこのゲームは見た目で楽しませてくれる要素が多い。例えば、きめ細かく描かれたフィールド上のキャラクタや背景。戦闘画面でいえば、大きく描かれたモンスターなど。このモンスターには色違いのものはなく、120体くらい用意してある。しかも攻撃時にはアニメーションする。

このように画面の美しさなどに力を入れた作品になるらしい。

⇦敵の基地内のフィールド画面。ち密なグラフィック

タイトル未定

ゴルフ

ポリゴン処理のシミュレーション

まだタイトル未発表のソフト。ジャンルはゴルフで、3D処理された画面で展開される。スーパーファミコン版の『遥かなるオーガスタ』に近いシステムになるらしいが、球が飛んでいく速度などが高速で処理される。

タイトル未定

アクション

CDならではのものに

くわしいタイトルなどは未発表。オリジナルのアクションで、縦横にスクロールするシステム。CD-ROMならではのゲームにするとのことで、マップの広さ、キャラクタの描き込みに重点をおいた作品になるそうだ。

タイトル未定

RPG

有名タイトルの移植

国内で有名なRPGの移植。そのタイトルはまだ未発表だが、かなり有名な作品らしい。現在はまだ具体的に企画は進んでいないが、完全移植を最低条件にMEGA-CDの機能を生かしたものを目指すとのことだ。

MEGA-CDのソフトしか作らない
セガ・ファルコム

セガ・ファルコムはMEGA-CDだけを作っていく方針で5本のソフトを開発中。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……なし
・MEGA-CD発売済みの作品……なし
・ゲームギア発売済みの作品……なし

日本ファルコムとセガが共同出資して設立したセガ・ファルコム。MEGA-CDのソフトだけを制作し、世界にも通用するゲーム作りを目指している。

タイトルは同じでも内容が違う

現在、MEGA-CDのソフトを5本開発している。これらのソフトはパソコン版からの移植となるもの。「その名前のゲームをベースにして作っていきます。タイトルが同じでも違うゲームとして楽しめます」(取締役　矢野氏)。また、本誌の12月号で周辺機器が発表されたのに対し、「今後作っていくソフトにはなるべく対応できるようにうまく作っていきます」(同　矢野氏)。今回は残念ながら詳しいゲーム内容やメガドライブ版のゲーム画面は、まだ発表できず画面はパソコン版のもの。

'93年秋発売予定/価格未定

『大戦略』シリーズ第3弾

人気の高い『大戦略』シリーズ。第2弾は第二次世界大戦だったが、今回は第1弾と同じで現代戦を想定したものとなっている。各国で使用されている現用兵器をユニットとして戦いぬいていく。戦闘シーンは実写の取り込み動画やリアルなCDサウンドの採用となるようだ。完成度はかなり高いものになりそう。

パソコン版『大戦略IV』の通常画面

'93年秋発売予定/価格未定

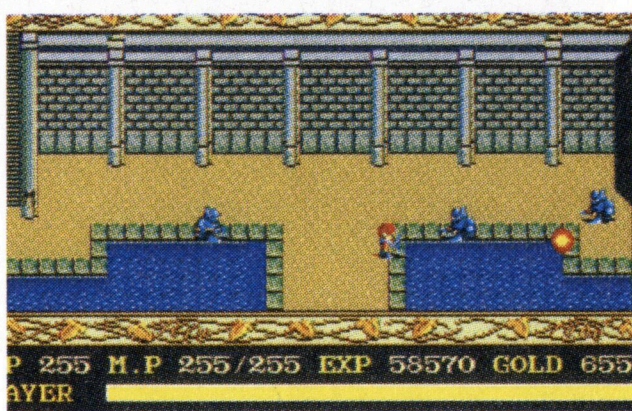
マウス対応のRPG

方向転換はキャラクタが動くのではなく、背景が回転するという斬新なシステム。マウスで操作をするゲームになるようだ。

『ブランディッシュ』。マウス対応だ

'93年秋発売予定/価格未定

『イースII』のシステムをベースに

シリーズ第4弾となるこの作品は『II』のシステムを受け継いでいる。主人公はアドル。新しい冒険が始まる。

『イースII』のシステムがベースに

カミング スーン!!
シスターソニック(仮称)
アクション

'93年秋発売予定/価格未定

ソニックの姉妹登場!!

日本ファルコムのパソコン用ソフト『ぽっぷるメイル』をベースにして作られているアクションゲーム。登場するキャラクタがソニックのシスター(姉妹)ということだ。たんなるアクションだけでなく、謎解きの要素もふくまれている。MEGA-CDでは当然のことながら、ビジュアルシーンが入っていると思われる。ソニックの姉妹が動いて話すので、ソニックファンには楽しみなソフトの1つだ。

『ぽっぷるメイル』の画面。ここでソニックのシスターが活躍するのか

'93年秋発売予定/価格未定

戦略思考の陣取りゲーム

日本ファルコムのパソコン用ソフト『ロードモナーク』からの移植で改良が加えられるとのこと。ゲーム内容は敵の土地を占領していく陣取りタイプのゲーム。しかもリアルタイム制なので素早い状況判断が戦局を左右することになりそうだ。ユニットに細かく指示ができ、雰囲気的には『ポピュラス』のようなゲームだ。

『ロードモナーク』。陣取りゲーム

　※画面はすべてパソコン版のものです。

MEGA-CDの普及や盛り上がりを広げる

タイトー

MEGA-CDを盛り上げるために、ユーザーに合ったソフト作りを目指している。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……計14本
・MEGA-CD発売済みの作品……なし
・ゲームギア発売済みの作品……計3本

メガドライブのソフトを14本、ゲームギアのソフトを3本とかなりの本数を発売してきたタイトー。当然のことながらMEGA-CDにも期待がかかる。

今後の動きを見てほしい

タイトーは「MEGA-CDの普及や盛り上がりを広げていくことのできるソフト作りを目指しています。またMEGA-CDのシステムはすばらしいので、その機能をいかせるようなメガドライブユーザーに合ったソフトを作っていきたいです」(宣伝部　川島氏)。なんとも心強い意気込みだ。メガドライブでは人気の高かった業務用からソフトが数多く移植された。MEGA-CDでも今現在発表されている2本のソフトも業務用で人気があったものからの移植。

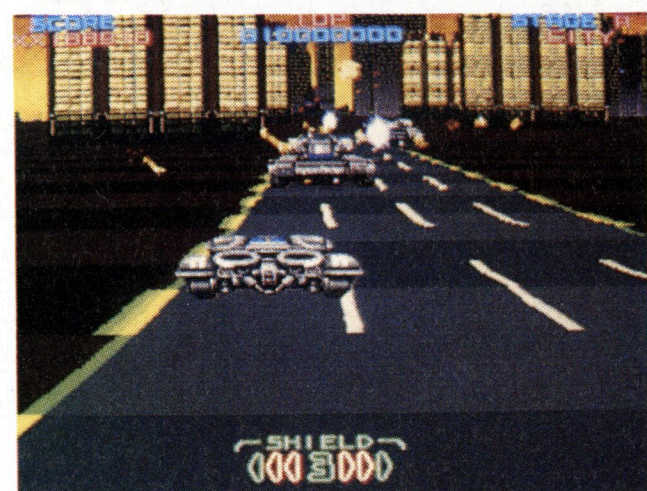
カミングスーン!!

ナイトストライカー

シューティング

発売日未定／価格未定

3Dタイプのシューティング

本誌の移植希望で人気の高かったこのゲーム。現在は業務用からの完全移植を目指し開発中。ゲーム内容は3Dシューティングでプレイヤーは特殊装甲車を操る。ボスを倒してステージクリアした後は『ダライアス』のような分岐があり、コースを選択しながら進んでいく。

↑業務用の『ナイトストライカー』。MEGA-CD版はいつ見られるか

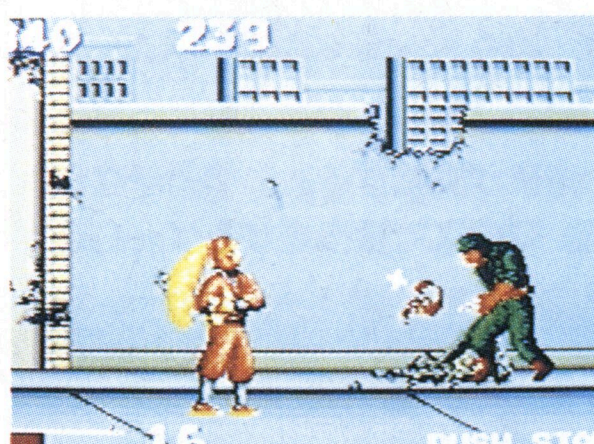
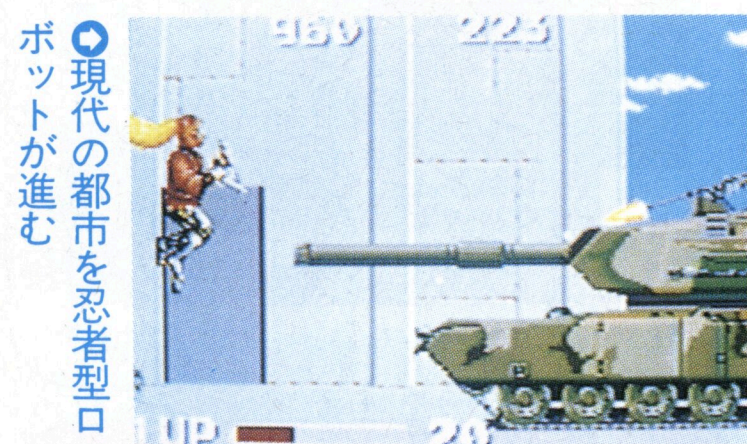
カミングスーン!!

ニンジャウォーリアーズ

アクション

'93年3月12日発売／7800円(税別)

ロボットの忍者が戦っていく

業務用では『ダライアス』に続く巨大な3画面筐体を使用した横スクロールアクションゲーム。MEGA-CD版は1画面に小さくなっているが、業務用と同じに完全移植されている。プレイヤーはロボットの忍者「NINJA」、「KUNOICHI」の2体で手裏剣と苦無(短剣)を使って戦う。また、PCエンジン版では実現できなかった、2人同時プレイが可能。音楽はタイトーのサウンドチーム「ZUNTATA」によるもので、独特な三味線のサビも健在。プレイ前に業務用と同じBGMとZUNTATAのアレンジモードの2種類から選ぶことができる。

↑苦無と手裏剣で戦っていくのだ

↑現代の都市を忍者型ロボットが進む

↑撃たれた場所は機械の部分が見える

↑ついに登場。MEGA-CD版の『ニンジャウォーリアーズ』

↑青い忍装束が「NINJA」で赤い忍装飾が「KUNOICHI」だ。この2体で激しい戦いを繰り広げていく

CD-ROMのソフトを追求していく
タケル(シュールド・ウェーブ)

MEGA-CDの初期からの参入。CD-ROMを追求していく方針で頑張っている。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……なし
・MEGA-CD発売済みの作品……計1本
・ゲームギア発売済みの作品……なし

MEGA-CD参入第1弾『ノスタルジア1907』が好評だったタケル。現在はその続編などを制作中だ。

その世界に、のめり込めるゲームに

方針を聞いてみたところ、「CD-ROMの大容量を生かしたキメの細かい演出、その世界にのめり込めるソフト作りです。開発が遅れた分、来年に期待して下さい」（営業部　部長　堀田氏）とのこと。

カミングスーン!!
ポップンランド
アクション
'93年3月発売予定／価格未定

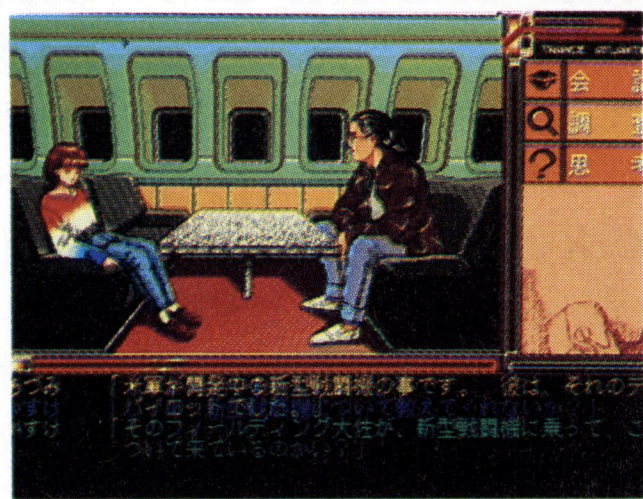
自分で好みのキャラクタを作りだす、アクションゲーム

自分でキャラクタを作っていく

ファミコン用のアクションゲーム『ココロン』をアレンジして移植。自分が操作するキャラクタは、頭、胴体、武器の3つのパーツを自由に選択できる。オリジナルのキャラクタが作れるぞ。

カミングスーン!!
ノスタルジアII
アドベンチャー
発売日未定／価格未定

現代の時代設定で登場

MEGA-CDソフトの1本目の作品『ノスタルジア1907』の続編に当たるもの。主人公は前作と同じヤマダ・カスケで時代設定が現代になっている。また職業は海外派遣社員だったものがヘッドハンターと変更。舞台となる場所は旅客機で、この中で事件が起こってしまうのだった。

パソコン版の『ノスタルジアII』。パソコンと同じ内容となる

途切れる事のない連続アニメーションを実現
データウエスト

独自のフルアニメーションシステムを使ったソフトを今後制作していく方針だ。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……なし
・MEGA-CD発売済みの作品……なし
・ゲームギア発売済みの作品……なし

'93年1月にMEGA-CD参入ソフト第1弾『AYA』がでるデータウエスト。今後もMEGA-CDのソフトを出していく予定だ。

年間1本ペースで作っていく

FM-TOWNS用のソフトの開発で、CD-ROMゲームのノウハウを持つデータウエスト。独自に開発したフルアニメーションシステムで、途切れることのないアニメーションや、PCMによる音声、効果音、内蔵音源の完全同期が可能。

「このシステムを使ったゲームソフトを今後も年1本のペースで作っていく予定です。他機種の移植だけでなくメガドライブのオリジナルソフトを作っていきたいですね」（企画部　広報課　課長　斉藤氏）。

カミングスーン!!
PSYCHIC DETECTIVE SERIES VOL.3 AYA
アドベンチャー
'93年1月3日発売／7600円(税別)

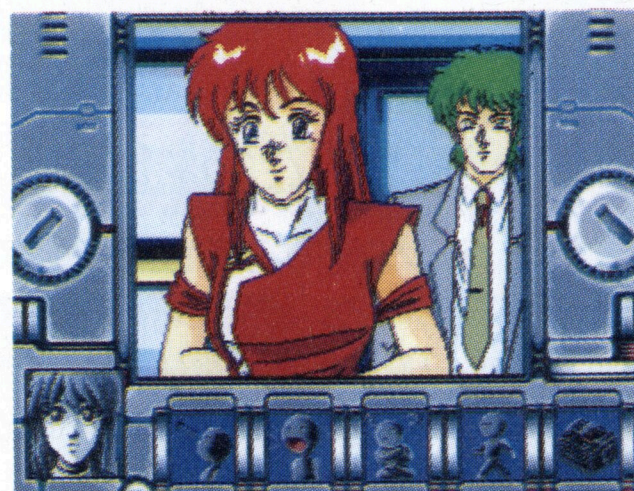
失そうした恋人を捜す

ミステリー風のアドベンチャーゲーム。主人公は特殊能力を持っている探偵。失そうしてしまった恋人を捜すための捜査をするのだ。

カミングスーン!!
MERRY GOROUND THE 4TH UNIT
アドベンチャー
発売日未定／価格未定

生体兵器の少女が主人公

FM-TOWNS用のソフト人気シリーズ『第4のユニット』の6作目が移植される。

21世紀初頭が舞台。死の商人WWWFに造られた生体兵器、バイオニックソルジャーである少女「ブロウィン」が主人公。ストーリーは、この少女の戦いを中心に描かれていく。

この少女が実は生体兵器なのだ。ゲームはアイコン選択式で進んでいく

最新の動画技術をさらに昇華させて

日本テレネット(ウルフ・チーム)

MEGA-CDソフトの発売本数では1、2を争うウルフ・チームの今後は?

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……計6本
・MEGA-CD発売済みの作品……計6本
・ゲームギア発売済みの作品……計1本

MEGA-CD発売当初から、意欲的に次々とソフトを発表してきたウルフ・チーム。最近は業務用LDゲームを復活させて注目を浴びている。そんなウルフ・チームの今後の展望を聞いてみた。

作品の質を向上

現在、5本の発売予定ソフトを発表しているウルフ・チーム。気になる次回作だが、これからの構想を聞いてみたところ、「できればメガドライブ版『グラナダ』の続編を作ってみたい。3D視点の『ソル・フィース』も面白いかも。また、パソコンで開発中の『アプロス』の世界観を使ってゲームができないか、考えています」(開発事業部長　秋篠氏)とのコメントが返ってきた。また、発売本数だが、「今後のMEGA-CDソフトの開発は、年間4本を考えています」(同　秋篠氏)とのこと。これは、開発本数を絞って、作品の質を向上させるための対処だ。いままでは、新しいアイデアの消化しきれていない部分もあったが、今後はその辺が改善されるということらしい。

ロードブラスターFX
アクション

12月18日発売予定/7800円(税別)

LDゲーム移植第3弾

数年前に業務用として登場したLDゲームの移植版。ゲームは、画面の指示に従って方向を操作するアクションだ。詳しくは本誌の新作記事をどうぞ。

天舞メガCDスペシャル
シミュレーション

12月25日発売予定/9800円(税別)

正史・三国志見参!

歴史書「三国志正史」にもとづいて制作されたシミュレーションゲーム。これは本誌の新作記事で詳しく説明しているので、そちらを見てほしい。

アークスⅠⅡⅢ
RPG

'93年3月発売予定/価格未定

パソコン3作品のカップリング

パソコン版のシリーズ3作品を、1枚のCD-ROMに収めて登場する。システムの統一や、MEGA-CDオリジナルの要素を追加される予定だ。

デバステイター
アクション

'93年2月発売予定/価格未定

メディアミックスで展開

アニメ、ガレージキットなど、いろいろなメディアで展開されている。ゲームは基本的に横スクロールアクションで、シューティングシーンも入るぞ。

アネット再び
カミングスーン!!
アクション

'93年1月下旬発売予定/価格未定

戦う美少女再び

『アーネスト・エバンス』シリーズ第3弾。主人公アネットが活躍する全9ステージのアクションゲーム。もちろん、ビジュアルシーンもタップリだ。

➡アネットの姿が再び見られる

タイトル未定
シミュレーション

あの続編か?それとも…

MEGA-CDシミュレーション『天舞メガCDスペシャル』がもうじき発売されるが、次のシミュレーションがすでに企画されているようだ。まだタイトルなど正式には決まっていないが、パソコンで好評だったものの続編になる可能性が高い。パソコンでヒットした作品が多いだけに、期待は大きい。

➡続編ならアレが有力?写真は『天舞~』

アプロス
ジャンル未定

異世界での物語

12月にパソコンで発売が予定されている『アプロス』も、企画検討が進んでいるようだ。パソコン版の移植という訳ではなく、本文中でもコメントしているように、制作されるとしたら、『アプロス』の世界観だけを使った、まったく別の作品になる可能性が高い。

➡MEGA-CD版が制作されるとしたら、パソコン版とは違った作品になる!? イラストは主人公「ムタア」

蓄積した技術をゲームにフィードバック

日本テレネット(RIOT)

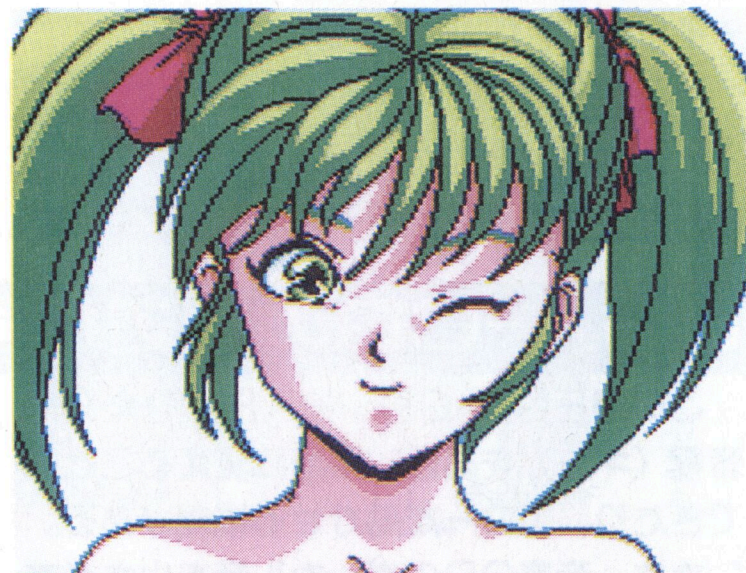
最近、発売ソフトのないRIOTの来年以降のMEGA-CDソフトの展開を聞く。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……計9本
・MEGA-CD発売済みの作品……計3本
・ゲームギア発売済みの作品……計1本

特にビジュアルシーンに力を入れたソフトを制作してきているRIOT。好評だった『魔法の少女シルキーリップ』以来、しばらくMEGA-CDからごぶさたしているが、さて…。

ビジュアルを生かして

現在ラインナップされている新作ソフトは3本。ちょっと気が早いが、それ以後の予定を聞いてみたのだが、「3月までに『Aランクサンダー』、『サイボーグ009』、『銀河鉄道999』を予定、3月以降はまったく未定の状態です」(宣伝企画課　森笠氏)と、少し残念なコメント。しかし、「現在、何本かの企画案をもとに、検討しています」(同　森笠氏)ともコメントしてくれた。また、「タイトル数は絞り込んで、その分内容を充実させていく予定です。積極的にMEGA-CDに取り組み、技術的、ビジュアル面での蓄積もできてきましたので、来年以降はその成果をお見せできると思います」(同　森笠氏)と、今後の抱負も聞かせてくれた。これからは、得意のビジュアルシーンを今まで以上に生かしたソフトが期待できそうだ。

MEGA-CD参入第1弾『コズミック・ファンタジー～』は賛否両論がある

究極の美少女ゲーム!?　との声もあり、評判の『魔法の少女シルキーリップ』

カミングスーン!!

サイボーグ009

アクション

'93年3月発売予定/7800円(税別)

サイボーグ戦士たちの戦い

アニメでもヒットした『サイボーグ009』が、アクションゲームとして登場する。プレイヤーは009を操作し、スーパーガン、加速装置などを使いながら、数々のステージを進んでいく。他のサイボーグ戦士たちもビジュアルシーンに登場するぞ。

スーパーガンを駆使して、迫る敵を倒して先に進んでいこう

加速装置を使った瞬間。画面の端から端まで、一瞬に移動する

カミングスーン!!

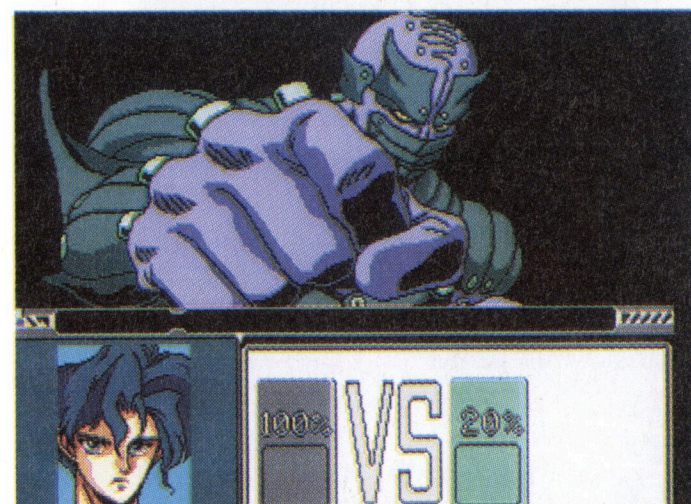
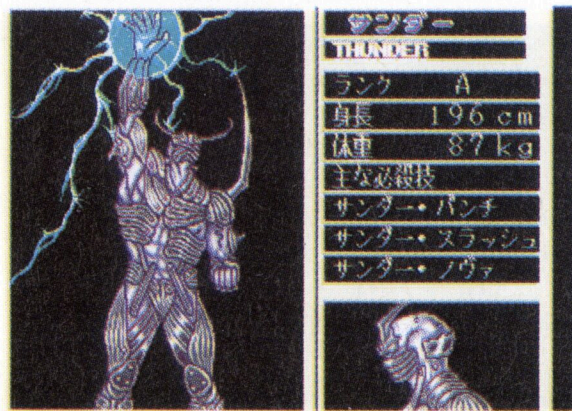
Aランクサンダー

アドベンチャー

'93年1月発売予定/7400円(税別)

特撮ノリのアドベンチャー

「悪の秘密結社と戦う正義の改造人間」という、テレビの特撮番組そのままの設定で繰り広げられるアドベンチャーゲーム『Aランクサンダー』。システムは、好評だった前作『魔法の少女シルキーリップ』のものを改良したものが使用される。戦闘はカードゲーム風のものが使用され、主人公サンダーや敵の改造人間たちのアニメーションが挿入される。ちなみにゲームの主題歌は、子門真人が担当している。

これが主人公「サンダー」の勇姿だ

敵との戦闘シーン。アクションはそれぞれアニメーションが用意されている

カミングスーン!!

銀河鉄道999

アドベンチャー

発売日未定/7800円(税別)

少年の夢をのせ、汽車は行く

アニメ映画が大ヒットした松本零士原作『銀河鉄道999』のアドベンチャーゲーム化。ストーリーは、ゲームだけのオリジナルになる予定。

999が発車する、アニメの1場面

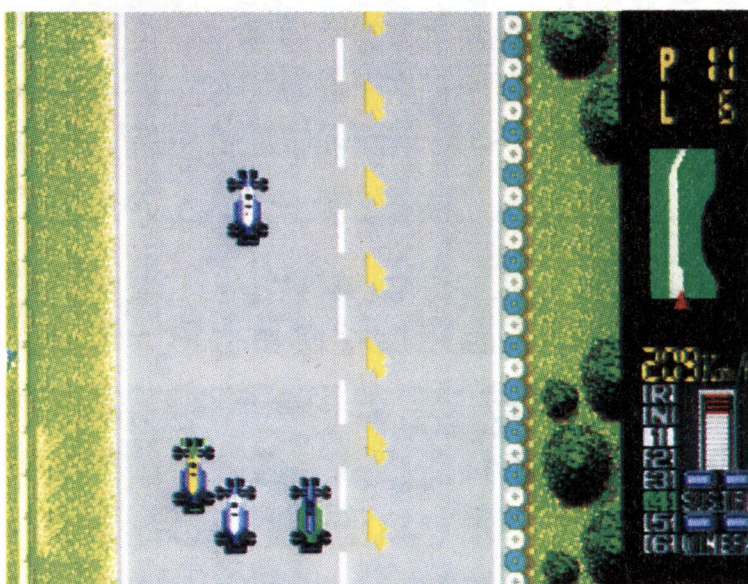
得意のレースゲームに物語性を加えて

日本物産

レースゲームはこれ１本で十分、といえる決定版をめざして着々と制作進行中。

業務用は麻雀ゲームで、また各種家庭用ゲーム機では『F1 CIRCUS』シリーズで知られる、ニチブツこと日本物産。メガドライブには'91年末の『F1 CIRCUS MD』で参入。そしてMEGA-CDでは？

CDの大容量を活かす

PCエンジンで元祖『F1 CIRCUS』が'90年に登場、'91年には続編の『～91』とメガドライブ版『～MD』、'92年にファミコン版、PCエンジン・スーパーCD-ROM²版『～SPECIAL』、スーパーファミコン版『SUPER～』、同『SUPER～LIMITED』が出て、まもなくPCエンジン版『～92』が登場。そんなユーザーの期待に応えてシリーズ第9弾となるMEGA-CD版は、CDの大容量を活かしたゲームをめざし開発が進んでいるのだ。

⬆日本物産の看板、人気シリーズのメガドライブ版『F1 CIRCUS MD』

現在MEGA-CDに関しては、この『F1 CIRCUS CD（仮称）』1本のみが企画、開発進行中になっている。

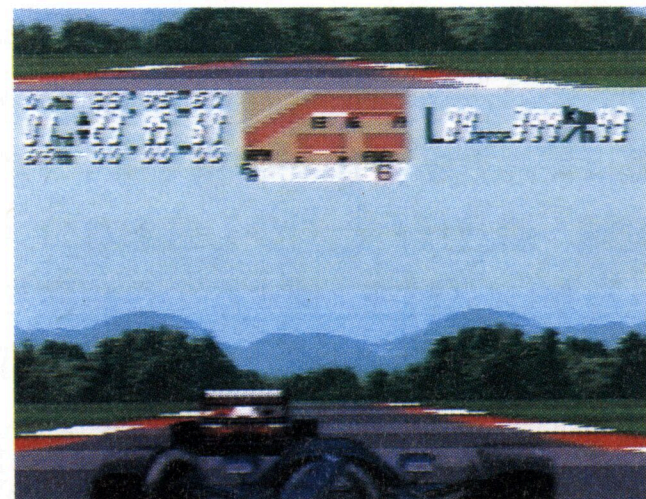
カミングスーン!!

F1 CIRCUS CD（仮称）

レース

発売日未定／価格未定

一味ちがう最新作

人気シリーズの最新版となる本作は、ほかのシリーズ作と大きく違う部分がある。なんと、コースを上から見下ろす従来の画面構成を一新、車を後方から見るタイプ、いわゆる3D型のレースになった！　もちろんFOCA公認で実名を使用しており、何シーズンかのデータが入るぞ。また、架空のチーム、ドライバーを使ったコンストラクターモードもあるなど、盛りだくさんのゲームになるぞ。

⬆開発中の画面も初公開！　雰囲気が一新された

MEGA-CDの周辺機器

MEGA-CD KARAOKE

12月18日発売予定／19800円（税込）

MEGA-CDには付いていなかったカラオケ機能を拡張機器として開発されたのが「MEGA-CD KARAOKE」だ。

このMEGA-CD KARAOKEは音程（キー）を高低12段階に変えることができたり、エコーを効かせる機能がある。

また、音楽CDのボーカル音を小さくする「ボーカルキャンセル機能」が付いているため、普通の音楽CDでカラオケを歌うことができるのが特長だ。

⬆MEGA-CD本体横にピッタリくっつく設計&自分のお気に入りのCDをカラオケにしてしまう機能付き！

バックアップRAMカートリッジ

発売中／6300円（税別）

MEGA-CD専用の周辺機器で、内蔵バックアップRAMのないメガドライブには使えない。MEGA-CDのバックアップRAMにセーブしたゲームのデータ等を保存するカートリッジ。とくにRPGやシミュレーションゲームなどを何本か同時にプレイするときに役にたつ。MEGA-CDの内蔵バックアップRAMの16倍の容量のデータを保存することができる。

⬆周辺機器とはいえ、メガドライブのROMのカートリッジと代わり映えしない

海外の優れたゲームを日本で紹介
ビクター音楽産業

海外の作品を意欲的に移植しているビクター音楽産業のパワーの秘密を探ってみたぞ。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ（ROM）発売済みの作品……………計1本
・MEGA-CD発売済みの作品……………計2本
・ゲームギア発売済みの作品……………計1本

『プリンス・オブ・ペルシャ』『ワンダードッグ』の2本のソフトを発売し、その後も次々に新作ソフトを発表して、現在は5本もの新作ソフトを抱えている。まさに順風満帆といった感じがするビクター音楽産業の今後を探ってみた。

予定作品はいっぱい

まずは今後のソフトの予定だが、「数々の新作を用意しています。その本数については、ただいまのところ未定です。ついでに、当社から発売されるゲームの中では、MEGA-CDのソフトが、一番多くラインナップされそうです」（ニューメディア事業部　南氏）とのこと。なかなか頼もしい答えが返ってきた。また、今後の抱負については「当社におきましては、ハードにかかわらずCD-ROMを媒体としたソフトの開発を重視します。ジャンルなどのこだわりはありませんが、マルチメディアといわれるものを手掛けていきたい。また、海外で評価の高かった作品を、日本へ紹介したいとも思っています」（同　南氏）とのこと。海外には優れた作品が多いだけに、今後のラインナップに期待したい。

カミングスーン!!

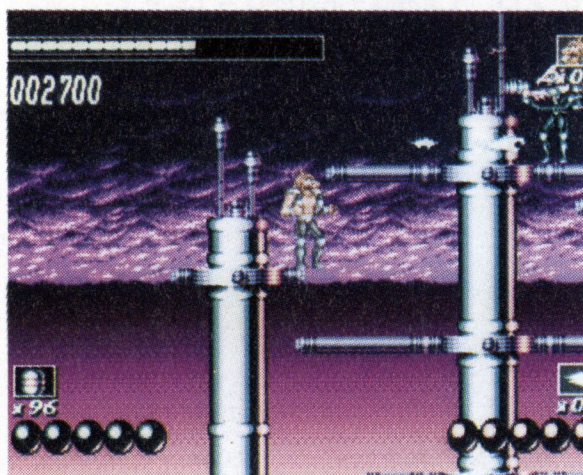
ウルフ・チャイルド

アクション

発売日未定／価格未定

狼男が主人公

狼に変身。多彩な攻撃を駆使して先に進め

イギリスのコア・デザイン社と共同開発されたアクションゲームだ。基本的なアクションはパンチとジャンプ、そして爆弾を使って敵を倒していく。最初は人の姿で進んでいくが、マップ各所に置いてあるアイテムボックスのパワーを集めることによって、狼の姿に変身できる。

カミングスーン!!

ジャガーXJ220

レース

'93年1月下旬発売予定／価格未定

名車ジャガーで走り抜け！

名車ジャガーを乗りこなし、ライバルをぶっちぎれ

道路の起伏なども、よく再現されている

海外のパソコンのAMIGAからの移植作品で、これもコア・デザイン社との共同開発。名車ジャガーXJ220を操り、さまざまなレースに勝ち抜いていくレーシングゲームだ。ゲームにはいくつかのモードがあり、自由に選んでプレイできる。また、レースに勝って得た賞金で、さまざまなパーツを買って、自分の車をパワーアップすることもできる。

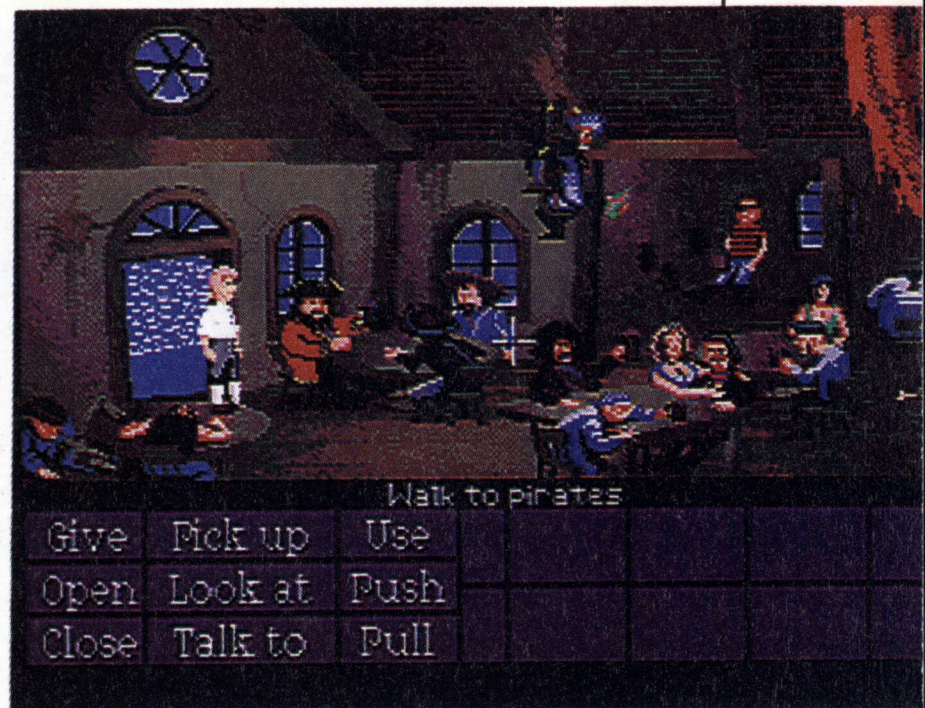
カミングスーン!!

モンキー・アイランド

アドベンチャー

発売日未定／価格未定

立派な海賊になれるのか…

ルーカスフィルムが制作したゲームの移植版。主人公の少年に待っているのは、海賊になるための3つの試練と、さらわれた女市長を救出すること。そのためにモンキー・アイランドに旅立つ…、というストーリーが展開される。

海賊に憧れている主人公の少年が、さまざまな冒険を体験していく

カミングスーン!!

ハイムドール

RPG

'93年3月下旬発売予定／価格未定

三種の神器を取り戻せ

北欧神話をモチーフにしたRPG。画面構成は斜め上から見下ろすタイプのもの。ストーリーは、主人公の少年、ハイムドールが、悪の神に奪われた三種の神器を取り戻すため、冒険の旅に出発する。

カミングスーン!!

大封神伝

RPG

発売日未定／価格未定

広大な大陸が舞台

中国は殷（いん）の時代、世界が下界、仙界、天界に分かれていた頃の物語で、そんな時代の中国大陸を主人公の少年が冒険していくという、ちょっと変わった舞台設定のRPGだ。

得意のスポーツゲームに挑戦したい

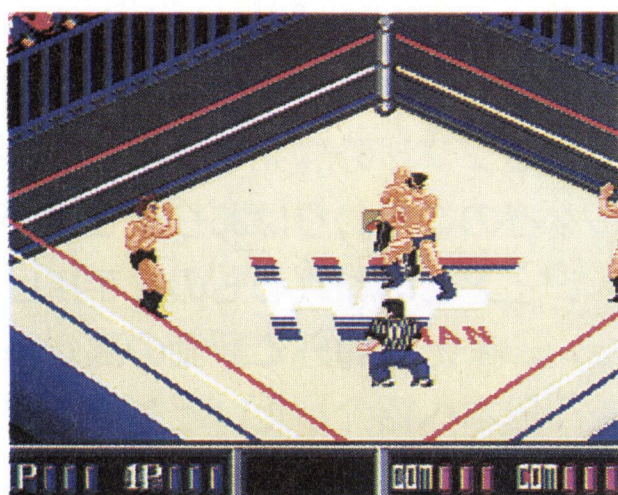
ヒューマン

『アルスラーン戦記』以後のラインナップはどうなのか。最新情報をリポート。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……計2本
・MEGA-CD発売済みの作品……なし
・ゲームギア発売済みの作品……なし

『アルスラーン戦記』でMEGA-CDに参入したヒューマンだが、それ以降のソフトの話がなかなか出てこない。今回はMEGA-CDソフトの次回作について、突っ込んで聞いてみた。

市場の様子を見て検討

まず気になる次回作だが、「現状では『アルスラーン戦記』以後の予定はまったくなく、企画もありません」（広報課　久保氏）と、悲しいお答え。しかし、もうMEGA-CDソフトは出さない、という訳ではなく「これからのMEGA-CDの市場の様子、発売後の『アルスラーン戦記』の動きを見て、検討していきたい」（同　久保氏）と、希望を残してくれた。また「制作するとしたらMEGA-CDらしいもの、ウチはスポーツが得意ですから、スポーツゲームを作ってみたいですね」（同　久保氏）とも答えてくれた。いずれにしろ、MEGA-CDの市場の拡大がポイントだろう。

メガドライブで発売の『サンダープロレスリング列伝』

カミングスーン!!

アルスラーン戦記

シミュレーション

発売日未定／価格未定

大ヒット小説のゲーム化

田中芳樹原作の同名小説をシミュレーションゲーム化。ストーリーは小説7巻までの、第1部をもとにしている。登場するキャラクタや背景などは、2回にわたってアニメ映画化されたものの設定が使われている。

ビジュアルシーンでストーリー展開をフォローしてくれる

音楽CDとしても通用する作品作りを

ポニーキャニオン

新規参入メーカーポニーキャニオンの、今後の予定や抱負を取材したぞ。

MAKER DATA BANK
・メガドライブ(ROM)発売済みの作品……なし
・MEGA-CD発売済みの作品……なし
・ゲームギア発売済みの作品……なし

『アイ・オブ・ザ・ビホルダー』をひっさげてMEGA-CDに新規参入したポニーキャニオン。参入したばかりで気が早いが、今後の予定や抱負なんかを突撃取材してみた。

判りやすい差別化を

やはりというか、参入第1弾『アイ・オブ・ザ・ビホルダー』に全力投球で、次はまだ決まっていないようだが、今後は「音楽CDとしても通用するような、音にこだわった作品を制作していきたいと思います。ゲーム性を軽んじるわけではないのですが、他のゲームメーカーとの立脚点の違いを考えると、差別化をはかるには、一番"判りやすい"ですから」（プロデューサー　鵜飼氏）という方針を語ってくれた。

初公開の画面写真。通常はこの画面でゲームが進行していく。メガドラ・マウスにも対応

カミングスーン!!

アイ・オブ・ザ・ビホルダー

RPG

発売日未定／価格未定

同名パソコン版の移植

全12フロアにも及ぶダンジョンを舞台に、そこに潜むモンスターたちを倒し、謎を解いていくリアルタイム進行の3DダンジョンRPG。ビジュアルシーンも強化され、ストーリーを演出してくれる。また、音楽は『ザ・スーパー忍』などの音楽で知られる古代祐三氏が担当。先月発表されたメガドラ・マウスにも対応している。

ゲーム中には、さまざまなヒントをくれるキャラクタが登場するぞ

パソコン版で作り上げた世界観をCDで

マイクロキャビン

ゲームギアのみのリリースだった同社だが、満を持してのMEGA－CD参入だ。

パソコンのソフトハウスとしては、かつてアニメのアドベンチャーが印象深かったマイクロキャビン。しかし最近の同社の顔は、RPGが多い。ファンタジー調の『XAK（サーク）』シリーズと、サイバーパンク調の『幻影都市』が人気。

1作に全力投球

今まではゲームギアで『ポップブレイカー』、『フレイ～修行編』をリリースしてきたが、ついにメガドライブにも参入し、CD－ROMで『幻影都市』を開発中。パソコン版から移植し、MEGA－CD独自の新要素もあるこのゲーム、'93年春の発売を目指して開発中だ。

現時点はこれ1作に全力投球で、同時に進行している企画などは特にないとのことだ。この『幻影都市』開発のノウハウを活かした、MEGA－CDだけの次回作なども期待してみたいね。

カミングスーン!!

幻影都市 -ILLUSION CITY-

RPG

'93年4月発売予定／価格未定

完全移植＋α

パソコンでマイクロキャビンが'91年末に発売したRPG『幻影都市』。近未来の香港を舞台に、サイバーパンク的世界観に魔物や気功といった伝奇的要素を加えた世界設定や、妖しげな登場人物、物語などが話題になった作品がMEGA－CDに登場。

基本的なゲームストーリーや、3D的な構成の戦闘シーン、ドラマ風なイベント演出（敵側キャラクタのイベントがゲーム中に挿入されるなど）、といったゲーム部分は変わらずに移植される。

もちろん、MEGA－CDオリジナルの要素もあるぞ。オープニングとエンディングは、CDアレンジサウンドと共に一新しビジュアルも加えられる。また、敵モンスターも新しい奴らが登場するぞ。

奥行きのある、迫力の戦闘シーンだ

ニーズに応えたソフト開発

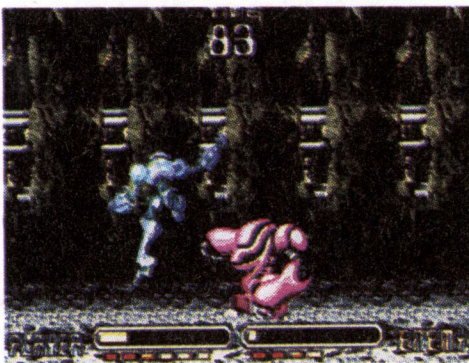
マイクロネット

いま流行の格闘アクションを、CDですでに2作リリース。次なるCD作品とは？

MAKER DATA BANK
・メガドライブ（ROM）発売済みの作品……計5本
・MEGA－CD発売済みの作品……計2本
・ゲームギア発売済みの作品……計1本

本体発売に合わせ、ロボット2体が激しい格闘アクションを繰り広げるCDソフト『ヘビーノバ』を発売、先頃続編の『BLACK HOLE ASSAULT』も発売した。

格闘アクションに続いては…

同社が現在発表しているMEGA-CDは、シミュレーションの『THE IIIRD WORLD WAR』1本。6月の東京おもちゃショーに合わせて発表されたが、現在は仕様を変更している最中。発売時期の方もまだ未定の状態だ。それ以降のMEGA-CD用作品は、いろいろな企画自体はあるものの、具体的な発表ができるのはまだない状態らしい。「シリーズ第3弾」を期待する向きも多いかと思うが、時期尚早だろうか？

同社のCD第一弾『ヘビーノバ』。重厚なメカニックの、リアルな動きが売りのアクション

第2弾の『BLACK HOLE ASSAULT』。軽快な操作性で対戦要素を重視している

カミングスーン!!

THE IIIRD WORLD WAR

シミュレーション

発売日未定／価格未定

近未来をシミュレート

その名もズバリ「第三次世界大戦」という、近未来を舞台にした戦略シミュレーション。現在は開発中だが、以前に発表された物からシステム的なレベルや画面構成などを含めて、かなりの改装がなされているらしい。よりリアルな感覚を再現しようと、いろいろと検討中なのだ。『ランドストーカー』ばりに、高さの概念の導入なども考えられているとか。

旧バージョンの画面。現在改装中

その他各社の動向を探る
OTHER MAKER

メガドライブ及びゲームギアの各メーカーは、MEGA-CDに参入する計画があるのだろうか？　また、参入しつつも具体的なタイトル、予定が上がっていないメーカーは何をしているのだろう？　そんな疑問にお答えすべく、各社の動向を探る2ページだ。

アイ・ジー・エス

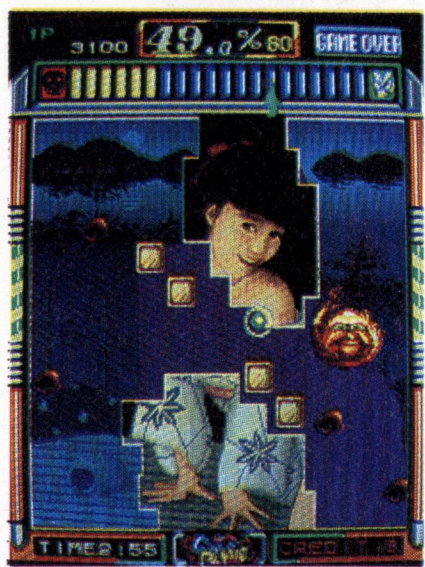
「とりあえず、'93年内でのMEGA-CD発売予定はない」とのこと。

アスミック

「企画検討中」とのこと。とりあえずは様子見、ということだろうか？

エレクトロニック・アーツ・ビクター

「現状では検討中。MEGA-CDでなくてはできないものがあれば…」とのこと。同社の母体である、エレクトロニック・アーツ社が、アメリカでCDのソフトを出すようになれば、日本版が出るという状況もありうるかも…。

金子製作所（KANEKO）

◯業務用の『ギャルズパニック』

かつてタイトルが挙がっていた『スーパーギャルズパニック（仮称）』。「万全の開発体制で臨みたい」とのことで、現在は開発作業が中断しているが、いずれは出したい、という意向。当分は出てこない状況のようだ。

九呉貿易

「一応は企画検討中だが、現在MEGA-CDの予定はありません」。

クライマックス

「スタッフの作業量や開発環境などを考えると、やはり無理だろう」とのこと。

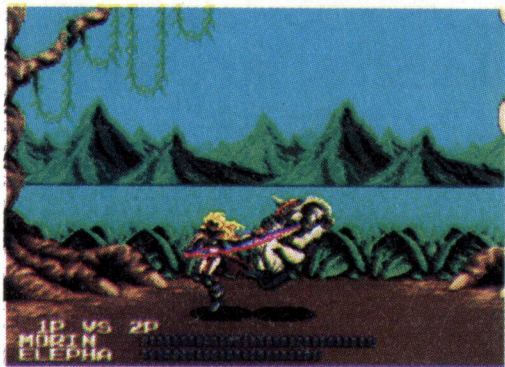
元気（GENKI）

「ゲーム市場も難しくなってきました。現在、検討中です」とのことだ。

講談社総研

「おそらく出さないでしょう」と断言。残念ながら、そういうことらしい。

サミー工業

本誌では初紹介の会社名だが、新規参入ではなく、トレコの親会社にあたる会社なのだ。今後はサミー工業としてメガドライブを出していくとのこと。肝心のMEGA-CDの予定もありそう？

◯トレコとして『ファイティングマスターズ』などをリリースしてきたが…

サン電子

「様子見の段階です」とのこと。盛り上がり次第、といったところか。

シグマ

「現在のところはいろいろと検討している段階です」とのこと。

システムソフト

「ハード自体は興味深いが、なんとも言えない」とのこと。さて？

ソニック

「制作予定はない。けど、出来ればいいなぁ…」。どんなものだろうか。

ソフトビジョン

「検討中です」とのこと。具体的な企画はないらしいが、期待できるかも？

データイースト

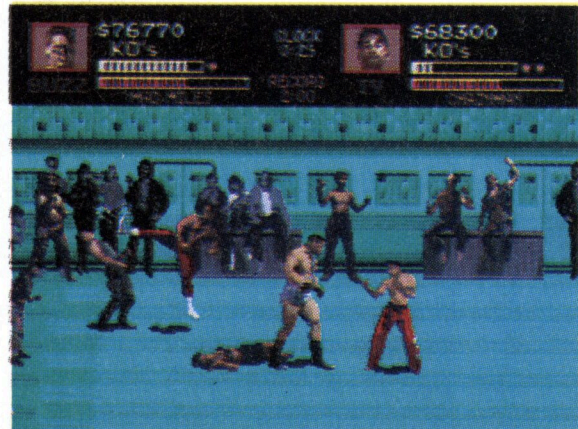
「参入に関しては白紙です」。同社に限らず海外の状況も気になるみたい？

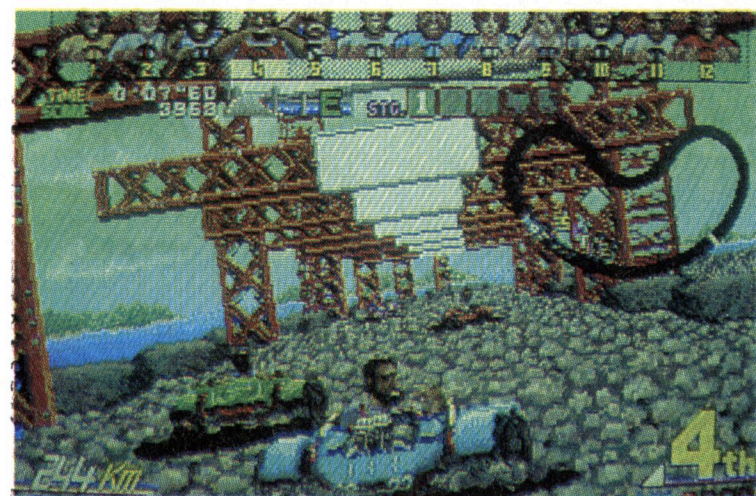
テクノソフト

「当分は様子見です。でも、CDならではのものがあればやりたい」。

テンゲン

「参入の予定はありますが、詳細はまだ未定です」とのこと。'92年のサマーCESで配付されたセガのアメリカ版カタログで、アメリカのテンゲンは『ピットファイターII』と『RBIベースボール4』の2作を、SEGA-CD（GENESIS版のMEGA-CD）用の発売予定リストに掲載している。日本では一体どうであろうか…？

◯『ピットファイター』。CDならキャラクタが大きくなるかも？

電波新聞社

セガの業務用体感ゲームの移植『パワードリフト』を予定しているが、難航しているのが現状。まだ画面写真も発表されていない。「なかなか思うように進んでいなかったが、今後は今まで以上に力をいれて、早く完成させたい」とのこと。派手なレースゲームの独特な魅力を損なうことない移植を期待しよう。

◯業務用の『パワードリフト』なのだ

東亜プラン

「まったくの白紙状態です」。とりあえずは、ロム3本を出したいところか。

東芝EMI

「検討中です」とのこと。レコード会社ならではの展開を期待したいが…。

東宝

「CDのみならず、メガドライブに関しては全くの未定です」とのこと。

東洋レコーディング(WAS)

「ハードスペックに、当方の開発力は残念ながら追いつきません」と謙虚。

ナムコ

「現在検討中です」。同社は基本的にディスクソフトを出していないが…。

日本コンピュータシステム

「CDに参入はしていますが、具体的なタイトルなどは未定です。環境が整えば、あるいは…」とのこと。普及台数などといった状況をもう少し見た上で、本格的に始動するのではなかろうか。

日本デクスタ

「CDなどに関してですが、今のところ未定ですね」とのこと。

日本テレネット(レーザーソフト)

「メガドライブに関するノウハウが少なく、とりあえずは見送っています」。

パック・イン・ビデオ

映画「ブレードランナー」などで有名な工業デザイナー、シド・ミードがビジュアルデザインに係わった、PCエンジンから移植のシューティング『テラフォーミング』。MEGA-CD版オリジナルの要素も加えて鋭意開発中ではあるものの、遅れ気味の様子。「まずはこれを作り上げてから、次を考えたいですね」。

PCエンジン版『テラフォーミング』なのだ

バリエ

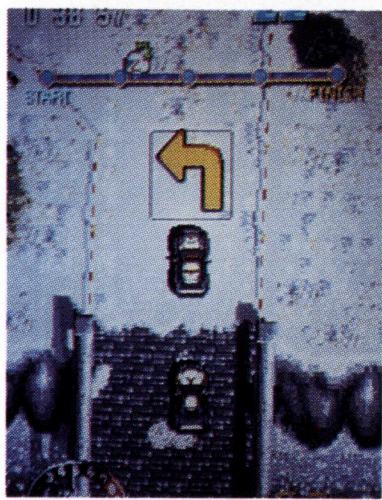
「MEGA-CDに関してですが、現状では予定はありません」とのこと。

パルソフト

「開発者としては魅力的なハードだがメーカーとして参入する予定はない」。

PCM・コンプリート

「現在予定なし」。海外でのMEGA-CDリリースが待たれるところか?

ビスコ

『ドリフトアウト』だ

かつて業務用レースゲーム『ドリフトアウト』のMEGA-CD移植版として、『ワールドラリー(仮称)』を予定していたが、「開発作業が難航中で、遅れてます。ユーザーの皆さんにはもうしわけないが気長に待って下さい」といった状態らしい。

ビック東海

「ロムも大容量化しているし、現時点ではあまりCDには魅力を感じない」。

ビデオシステム

「現在のところ、予定はありません。状況次第という感じでしょうか」。

フェイス

「メガドライブなどに関しては、予定はありません」とのこと。

ホームデータ

「期待して下さる方にはもうしわけないが、予定はなしです」とのこと。

ホット・ビィ

『デトネイター・オーガン』を発売したホット・ビィだが、「ただいま検討中。詳しいことはまだ発表できません」とのこと。完結編を期待する人も多いはず。

ビデオアニメをゲーム化した『デトネイター〜』

ポリドール

レコード会社として知られるポリドールが、パソコンでライトスタッフが発売した『アルシャーク』のMEGA-CD移植版での参入を発表した。

宇宙を舞台にしたRPGで、ビジュアルなどが特に人気の高いゲーム。「今はこれ1本に全力投球です」とのこと。発売時期はまだ未定なのだ。

移植の元となるパソコン版『アルシャーク』を4点紹介しよう

ビジュアルは増えるらしい

宇宙を駆け回る、SFタッチのRPGなのだ

MEGA-CD版の画面写真の公開は、もう少し時間がかかる模様

マーバ

「とりあえず、現在予定なし。MEGA-CDに合った企画があれば…」。

マイクロワールド

「興味はありますよ。現在は様子を見ている状態ですね」とのこと。

リバーヒルソフト

「今は未定ですが、他機種での実績や『ブライ』の人気など、もしかしたら…」

MEGA-CD 新作発売カレンダー

このカレンダーには正式リリースされたタイトルのみ掲載しています。価格はすべて税別です。

12月

18日 ●アフターバーナーIII ★CSK総合研究所／8400円
18日 ●ぎゅわんぶらあ自己中心派2 激闘！東京マージャンランド編 ★ゲームアーツ／7800円
18日 ●ロードブラスターFX ★日本テレネット（ウルフ・チーム）／7800円
25日 ●ゆみみみっくす ★ゲームアーツ／7800円
25日 ●カプコンのクイズ殿様の野望 ★シムス／7800円
25日 ●天舞メガCDスペシャル ★日本テレネット（ウルフ・チーム）／9800円

'93年1月

3日 ●PSYCHIC DETECTIVE SERIES Vol.3 AYA ★データウエスト／7600円
下旬 ●ジャガーXJ220 ★ビクター音楽産業／価格未定
下旬 ●Aランク サンダー ★日本テレネット（RIOT）／7400円
下旬 ●ダークウィザード ～蘇りし闇の魔導士～ ★セガ／6800円
下旬 ●シムアース ★セガ／価格未定
下旬 ●アネット再び ★日本テレネット（ウルフ・チーム）／価格未定

'93年2月

26日 ●ファイナルファイトCD ★セガ／価格未定
未定 ●デバステイター ★日本テレネット（ウルフ・チーム）／価格未定

'93年3月

12日 ●ニンジャウォーリアーズ ★タイトー／7800円
19日 ●笑ゥせぇるすまん ★セガ／価格未定
26日 ●聖魔伝説3×3EYES ★セガ／価格未定
下旬 ●サイボーグ009 ★日本テレネット（RIOT）／7800円
下旬 ●ハイムドール ★ビクター音楽産業／価格未定
未定 ●ポップンランド ★タケル（シュールド・ウェーブ）／価格未定
未定 ●ウイング・コマンダー ★セガ／価格未定
未定 ●CDソニック・ザ・ヘッジホッグ ★セガ／価格未定
未定 ●スイッチ ★セガ／価格未定
未定 ●アークスＩⅡⅢ ★日本テレネット（ウルフ・チーム）／価格未定

'93年4月以降

4月 ●Vay ～流星の鎧～ ★シムス／7800円
4月 ●幻影都市ーILLUSION CITYー ★マイクロキャビン／価格未定
7月 ●アイ・オブ・ザ・ビホルダー ★ポニーキャニオン／価格未定

発売日未定

●シルフィード ★ゲームアーツ／価格未定
●シュヴァルツシルト（仮称） ★工画堂スタジオ／価格未定
●マイト・アンド・マジックIII ★CSK総合研究所／価格未定
●いしいひさいちの大政界 ★セガ／価格未定
●ジョーモンタナ フットボール ★セガ／価格未定
●ロードス島戦記 ★セガ／価格未定
●NIGHT TRAP ★セガ／価格未定
●リアルファイターズ ★セガ／価格未定
●イース・マスク オブ ザ サン（YsIV）（仮称） ★セガ・ファルコム／価格未定
●シスター ソニック（仮称） ★セガ・ファルコム／価格未定
●スーパー大戦略 SCD（仮称） ★セガ・ファルコム／価格未定
●スーパーブランディッシュ（仮称） ★セガ・ファルコム／価格未定
●ハイパーロードモナーク（仮称） ★セガ・ファルコム／価格未定
●ナイトストライカー ★タイトー／価格未定
●ノスタルジアII ★タケル（シュールド・ウェーブ）／価格未定
●MERRYGOROUND THE 4TH UNIT ★データウエスト／価格未定
●パワードリフト ★電波新聞社／価格未定
●銀河鉄道999 ★日本テレネット（RIOT）／7800円
●F1 CIRCUS CD（仮称） ★日本物産／価格未定
●テラフォーミング ★パック・イン・ビデオ／7800円
●ウルフ・チャイルド ★ビクター音楽産業／価格未定
●大封神伝 ★ビクター音楽産業／価格未定
●モンキー・アイランド ★ビクター音楽産業／価格未定
●アルスラーン戦記 ★ヒューマン／価格未定
●アルシャーク ★ポリドール／価格未定
●THE IIIRD WORLD WAR ★マイクロネット／価格未定

平成5年1月15日発行(毎月1回15日発行)第5巻第1号(通巻35号)
メガドライブFAN 1月号特別付録